大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　九月二十八日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

上海北部戰線俄然進展す

〔上海廿八日發國通〕廿七日午後九時軍報道部發表

一、羅店鎭方面の〇〇部隊は廿七日朝來廿六日に引續き前面の頑强なる敵に對して攻擊中にして依然攻擊を有力に進展しつゝある

二、劉家行方面におけるわが〇〇部隊は廿六日の攻擊に引續き力攻中にして、鷹森部隊の一部は陳家巷附近敵堅壘を突破し上海街道に肉薄し、田上部隊の第一線は無電臺附近敵陣地を奪取し文衡堂西側地域に進出し劉家行の敵に對し猛攻中なり、石井部隊の第一線は大丸房西側無名部落の堅壘を突破し顧家宅部落の至近距離に肉薄し追擊中なり

中南支各地を空爆

〔上海廿八日發國通〕廿七日艦隊報道部午後九時發表

一、本日午前十時わが海軍航空隊は航空兵工廠および廣東軍官學校を炎燒せしめたり、われに損害なし

二、海軍航空隊は本日午後一時四十五分頃南京對岸浦口停車場を爆擊して停車場に大損害を與へ數十輛の貨車を爆擊せり、また一部隊は陸軍部隊に協力し各方面の敵陣地を爆擊せり、われに損害なし

三、本日午後四時わが海軍航空隊は粵漢鐵道連江口附近鐵橋および從化ならびに虎門飛行場を爆擊し、從化においては飛行機一機を爆破せり

〔上海廿七日發國通〕艦隊報道部廿七日午後六時半發表

〔上海廿七日發國通〕わが海軍航空隊は廿七日午後一時松永兵曹長指揮の一隊をもつて劉家行上空を飛翔し、敵砲兵陣地を爆擊しこれを粉碎した

〔上海〇〇前線にて廿七日發國通〕石井部隊は王宅西方約百米の無名部落に據る敵の强固な陣地に猛烈な夜襲を加へ、猛擊戰をもつて敵を粉碎しこれを占據した、この戰闘において齋藤英一准尉は胸部を敵彈に射拔かれて壯烈な戰死をとげ、工藤曹長亦名譽の戰死をしたほか死傷者十數名を出したが、敵死者四十餘名、手榴彈、銃器を遺棄して潰走した

〔上海廿七日發國通〕海軍航空隊は二十七日午前九時四十五分小倉中尉、同十一時より柴田一等航空兵曹、同午後一時より駒形中尉各編隊長となり閘北商務印書館を中心とする一帶の敵陣地に對して徹底的爆擊を加へた

〔〇〇廿七日發國通〕二十八日午前數回にわたつて中部戰線河間方面の爆擊を敢行したわが航空部隊は、さらに敵の退路を斷ちわが地上部隊の前進を容易ならしめるため午後四時島谷部隊の〇機編隊にて河間南方の子牙河流域の根據地感家橋の爆擊を敢行した、同地は河間、獻縣および南方に通ずる軍要地點であり、この爆擊で敵は甚大なる損害を受けた

事變寫眞

突擊また突擊の淺間部隊（羅店鎭）支那軍無法にも毒ガスを使用し防毒具に身をかためて活躍する我が陸戰隊（北四川路にて撮影）

郭莊の激戰に
目覺しい二臺の戰車

【保定廿七日發國通】過ぐる保定會戰直後の激戰であつた郭莊附近の戰闘において僅かに戰車二臺をもつて阿修羅の如く敵陣を踏み潰し一時は危く見えた友軍〇〇部隊の急を救つた〇〇隊長の活躍は誠に機宜を得た天晴れの奮戰振りとして絶讃されてゐる、保定へと敵を拂つて南進したわが〇〇部隊は廿三日郭莊において堅陣に據る敵中に突擊猛烈な激戰を展開した、物凄い敵は無數味方は寡兵、白兵戰を何回となく繰返したが、衆を恃む敵は頗る頑强に抵抗し一時は全く苦戰に陷つた、この時突如後方のわが陣から二臺の戰車がこの白兵戰の渦中に驀進、群る敵を目がけて銃眼も碎けよとばかり機關銃の十字砲火を浴せた後數十の支那兵を到し敵の死體を踏み潰し敵の中央にある敵機關銃隊目がけて殺到見る見るうちに數百の支那兵を射殺し浮足立つた陣中へ無敵の突擊振りを見せ敵機關銃七十數臺を踏み越え敵を南方へ敗走せしめ〇〇部隊の前進突擊路を開き爾後のわが軍行動を有利に導いたものである、敵の掃蕩を終へて戰車から降りた一將校を見ると命令系統の異る他部隊所屬〇〇隊長で〇〇部隊の急を見て協力に來たものと判明、夜に入つて右の隊長は後方陣に步いて來て

明日も引續き協力したいからガソリンを補給して呉れ

と賴んで來た、そして

用事があるから歸る、手が足らぬから失禮します

といふので質ねると

右肩に貫通銃創を負ひました

といひ始めてそれと知つた隊長は何喰はぬ顏で「明日も戰ふ」との意氣に〇〇隊では大いに讃嘆してゐる

粵漢線各驛を猛空爆
列車の運行不能
通信連絡も斷絶す

【香港廿八日發國通】粵漢鐵路局の消息として廣東より當地に達した情報によれば、廿七日午前一時より四時までわが空軍は廣東省北部銀盞、大朗兩驛に爆彈十餘個を投下し線路に卅米の大穴をうがち更に江村、岡站附近の軌上にも爆彈八個を投下し十四米の大穴を造り、江口、江村兩鐵橋は何れも橋脚破壞され列車の運行不能となり、電信電話線も切斷され奥地との通信連絡は不能となつた、正午現在廣東から北方を望むと黑煙天に沖してゐる、なほ從化において飛行機一機を爆破した

浦口驛を爆擊

【上海廿七日發國通至急報】廿七日午後二時半艦隊報道部發表＝本日午後二時より日本海軍航空隊は津浦線の終點浦口驛を爆擊せり

鷹森部隊進擊

【上海廿七日發國通】堅壘を誇つた王丸房無電臺を占據した鷹森部隊は午後さらに敵を掃蕩しつゝ前進中で、敵は續々蔴涇クリーク方面に後退中である

丹羽少尉戰死

【上海廿七日發國通】林家宅附近の激戰に群り寄る敵六名を斬り倒し奮戰中の鷹森部隊丹羽博少尉は敵彈二發を胸部に受けて天皇陛下萬歲を三唱しつゝ鬼神も泣く壯烈な戰死を遂げた、同少尉は岐阜縣の出身である

保定の敵は劉峙が指揮

【天津廿七日發國通】保定附近においてわが軍の猛擊を阻止せんとした敵は、劉峙の率ゐる第二師、第十七師、第二十八師と判明した

滿洲國工場管理法
立案を急ぐ

滿洲國政府では戰時における軍需關係工業の國家管理を目的とする「工場管理法」を制定するため日本の軍需工業動員法および歐洲大戰當時の各國の軍需工業動員法を基礎に之が立案を急いでゐるが、同法案の内容は日本の軍需工業動員法を一層强化し、事業主が自己の工場に對して持つ職權の大部分を政府に移讓する等各工場の指揮監督權を廣汎にわたつて政府に附與せんとするものである、該法案は本年中には公布されない豫定であるが、戰時における軍需工業品の生產、配給を國家の手に管理せんとするものであるからその發動は勿論戰時にのみ限られてゐる

廣東海軍、英商に
海防艦二隻註文

〔香港廿八日發國通〕廣東海軍は海防艦二隻を建造するに決し香港の英國商バイレイ會社に註文、直ちにこれが建造に着手せしめた

日本の眞意認識
英有力筋の穩健態度

【ロンドン廿六日發國通】ユーゲッセン大使事件が英國政府最初の調子からみて比較的穩かに解決したので從來强硬派の新聞界でも寧ろ案外の態であるが、英國政府としてはこの程度の偶發事件で拔差ならぬ破目に陷るを愚としてクレーギー駐日大使の斡旋に信賴したものといはれる、その眞意はやはりチエンバレン首相以下既に支那における軍事行動終熄後の事局收拾に關係する建設的考慮を廻らして居り極東の實力者としての日本との協力以外に途無しとの實際的見地に立つてゐる爲とみられる、即ち英國としては在支權益が破壞されつゝある現事態を無論快しとしないがさりとて一般新聞界の如く純理論乃至感情論一點張りの態度も執らず、一日も早く支那における軍事行動終熄を齎しその上で時局收拾に日本と協力せんとする用意ありといはれ、この點はシテイー方面有力筋でも一致した意見である從つて今次の解決は從來日英關係惡化に怯えたシテイー方面に好影響を與へるものと見られる、尙在支權益に直接關係あるシテイー方面では日本の軍當局が上海その他で外國權益尊重に細心の注意を拂ひつゝある點を充分認識し大いに多としてをり、この點新聞のセンセイショナルなる態度とは異つてゐる、シテイー方面では日本は今次事變で相當外國財界方面の信用を損じたが、軍事行動を速かに終熄せしめ善後策に愼重な態度を執り英國と協力すれば信用恢復は案外迅速だらうと英人有力側では見てゐる

『日本空軍は斷じて 軍事施設以外は爆擊せず』
誤解一掃の外務省談話發表

【東京國通】日本軍の空爆に關する外國輿論の誤解誤認を一掃し、わが軍の公正妥當なる行動を正當に認識せしめるため外務當局では廿七日午前外國新聞記者團との會見において左の如き情報部長談を發表し、日本空軍は非戰闘員を目標とするものに非ず且つ軍事施設以外は斷じて攻擊目標としてをらざる旨を言明した

□

日本政府においては傳へられるが如き空爆の結果については充分なる報告に接してゐない、殊に廣東のロイテル通信は最も誇張的であつたが、同地に於るロイテル通信は槊といふ支那人經營であるから信を置き難いものである、しかしながら事實の眞相は傳へられる如きセンセショナルなものではないと思ふ、非戰闘員に對する攻擊を目標とすることは絶對に日本軍の眞意ではない、非戰闘員を目標として直接攻擊する如きことは斷じてない、それ故に爆擊に先立つて通告した次第である、即ち南京における各國大公使館に對しては萬一不慮の災害がないやうに懇切にあらかじめ警告し、別に九月廿日長谷川司令長官は支那人に對しわが攻擊の目標たるべき軍事施設附近から引揚げるやう警告を發した次第である、殊に南京、廣東の兩市においては軍事施設、軍事關係の建造物、換言すれば敵性を有する建造物が一般市民の營業區域と截然分離された地域であるのではなくそれと混在してゐることである、某國の如きはこの點の認識が不充分で、軍事施設はすべて市街の外にあるものゝ如く誤解してをり、これがため市中の爆擊は即ち故意に非戰闘員を目標とする爆擊であると誤信し、日本軍を非難してゐることは甚だ失當のものである、故に南京、廣東兩市の支那當局に對しては爆擊のため間接的に危害を蒙むるべき虞ある位置に居住または營業する市民に對しては豫め安全地帶に避難せしむることについて懈怠なからんことを要望する次第である、空戰法規に關しては未だ確定したものゝないことは一九二二年のヘーグの空戰法會議の際日米伊等が空爆目的物を具體的に制限列擧すべき事を主張したるに對し、凡そ軍用目的物と見得るものはすべてこれを空爆し得べしと强調したのは英佛兩國であつたといふ經緯のあつたことを想起せざるを得ない、さらに最近入手した情報によれば、日本空軍の廣東における空爆の命中率は正確であつて軍事施設のみに適中してをり、ロイテル等が最初に報じたる如く非戰闘員多數に死傷者を出した事實はなかつた模様である

天津治維會
復興策遂行

【天津廿七日發國通】皇軍の威武により漸次平常化して行く天津は華北民衆の日本軍信賴と相俟つて逐次復興の道程を辿りつゝあるが、これと相呼應して當地治安維持會は各方面に亘つて復興策を繼續してゐる、即ち

一、天津社會局の手により支那細民救濟を目的とする職業紹介所の設置
二、天津市慈善事業團體による細民救濟を目的とする綿服の購買および食糧問題に對する救濟策
三、當市工務局の手により道

田尻一等書記官
中間報告に歸國

【上海廿七日發國通】田尻一等書記官は中間報告をかね本省と打合せのため廿七日午後二時出帆の上海丸で急遽歸國の途についた、東京滯在は約十日間の豫定である

衆議院慰問團
三十日北支へ

上田孝吉氏を團長とする衆議院議員北滿皇軍將兵慰問團一行十三名は二十八日午前九時三十六分着京濱線で來京向陽ホテルに投宿二十九日解團豫定のところ日程を變更して三十日午前零時發列車で離京奉天經由北支へ向ふ事となつた

人事往來

着京

▲村上齊邦氏（商業）二十七日來京國際ホテル
▲小林有信氏（官吏）同
▲前田唯好氏（滿鐵社員）同
▲鈴木康禹氏（稅關官吏）同
▲野崎義夫氏（滿鐵社員）同
▲香月光治氏（三菱社員）同
▲常見章雄氏（會社員）同向陽ホテル
▲江川芳光氏（衆議院北滿軍隊慰問團）同
▲北田榮太郎氏（貿易商）同蓬萊ホテル
▲小島榮次郎氏（官吏）同
▲木村定吉氏（同）同
▲井上永男氏（同）同
▲大藤一雄氏（同）同
▲東久吉氏（同）同
▲町野銀次郎氏（同）同
▲綿谷留治氏（滿鐵社員）同
▲酒井榮二氏（同）同
▲永原岩雄氏（會社員）同
▲中山定雄氏（鑛業）同富士屋旅館
▲小山猛男氏（滿鐵社員）同
▲筒井行夫氏（會社員）同中央ホテル
▲中野十郎氏（貿易商）同國都ホテル
▲古澤悌次氏（官吏）同
▲大江規矩人氏（滿炭社員）同
▲牛山藤吉氏（滿鐵社員）同
▲黑田藤次郎氏（國際運輸社員）同

出發

▲藤原時治氏　廿七日發哈市へ
▲平田力一氏　同大連へ
▲岩本定藏氏　同農安へ
▲下川茂登次氏　同安東へ
▲赤江清二氏　同
▲川口常房氏　同
▲龜井俊彦氏　同錦州へ
▲角田彰氏　同大連へ
▲富田一三氏　同奉天へ
▲池田芳三氏　同哈市へ
▲奥平廣直氏　同安東へ
▲久保小市氏　同錦縣へ
▲井上邦雄氏　同哈市へ
▲廿川德之助氏　同
▲熊谷要藏氏　同四平街へ
▲中谷繁雄氏　同吉林へ
▲堀川康浩氏　同
▲増田二朗氏　同
▲寺澤正二氏　同哈市へ
▲中澤信吉氏　同開原へ
▲大原要氏　同大連へ
▲神戶八郎氏　同
▲板野六郎氏　同
▲宮下操氏　同
▲磯田久米藏氏　同四平街へ
▲池田正氏　同葉相壽へ
▲樺島信夫氏　同哈市へ
▲日高長次郎氏　同奉天へ
▲金生莊路氏　同鞍山へ
▲伊知地三郎氏　同奉天へ
▲本田兵輔氏　同
▲名取幸二氏　同
▲矢中快輔氏　同
▲杉岡雅躬氏　同
▲坂本惠武氏　同奉天へ
▲杉岡時雄氏　同洮南へ
▲渡邊幸太郎氏　同吉林へ
▲小西幸次郎氏　同哈市へ

その日〳〵

□

張治中部隊大損害で上海戰線の敵兵新しく配備さる、軍備縮少を敗戰で行ふ積りか

□

頑强な抵抗も督戰隊あつてだといふ、督戰隊にまた督戰隊がついてゐるかも知れぬ

□

戰雲しきりなるとき、關と岳といふ武神この國で祀られるのも意味深い

□

まさしく衆智をすぐつて馬車に備へた新具、大いに效果あることを希はう

□

朝晚に加はる冷氣、秋のづと戰陣の明け暮れを思はしめ緊張なきを得ぬ

關羽、岳飛を偲ぶ
于承祭官參列古式に
けふ南關々岳祭盛觀

關羽、岳飛を軍神として祀る秋季關岳祭は二十八日午前九時より南關の關帝廟に於て于治安部大臣承祭官となり薄田次長、澁谷警務司長、入江宮內府侍從長以下治安部、各司科長等出席、式は治安部軍樂隊奏樂裡に迎神、初獻、讀祝、亞獻、終獻、撤饌、送神、望燎の次第で古武に則り盛大嚴肅に執行され熱河省境に活躍する國軍の武運長久を併せて祈つた(寫眞は于治安部大臣鞠躬と式場)

ネオン街商戰に
消燈時間不統一から不平
ダイヤ街思案投首

ネオン街の閉店時間は取締り規則によつて午後十二時と規定されてゐるものでこの時間を境として光芒きらびやかなネオン街も消燈されて一轉歡樂の終幕を告げるのであるが、附屬地區の最近に於けるこれ等ネオン街の消燈狀況を眺める時左の如き不統一な三地域に區分されるやうだ

即ち東二條筋は午前零時四十分前後、東一條通筋は午前零時二、三十分前後、ダイヤ街方面は午前零時となつて規則を遵守してゐるのはダイヤ街の業者と言ふことになつてゐるものである、ところがこの消燈狀況の不統一に鑑みてダイヤ街業者間に不平の聲が漏れて來た

彼等の言ひ分は由來ダイヤ街は都市計畫の南方發展に伴ひ建設された發展途上の區域で現在の狀況よりして遊客の多くは東二條、東一條筋の繁華街に吸集されその餘分の客足が流れ込むの狀態であると共に時局の反映によつて最近の經營は可なり困難な傾向にあり此の區域の安定的な發展はむしろ今後に期待されるものである、而して遊客を繁華街の流れを相手とする時必然的に客足も遲いにかゝはらず消燈時間を嚴守して前者より早く消燈することは業界にとつて大なる痛手である、と言ふのである

斯る立場からダイヤ街業者間にはこの消燈時間に對して全ネオン街一律的に嚴守するかさもなくば暫定的にでも時間延長の認可を願ひ出るかと目下思案投首の態である

醉拂ひ留置

本籍新潟縣上蒲郡新津町、特別市南嶺通信隊前石田富男(三〇)は廿六日午後八時三十分頃したゝか醉つて上南嶺同仁郷飲食店醉雲こと藤原ハル子さん方に至り十一時頃まで三圓七、八十錢を遊興したが自分の履いた靴のことから因緣を吹きかけ擧句の果ては土足で座敷に上り店主溝端槇太郎氏、女將ハル子さんを毆打するの亂暴を働き急報に馳せつけた南嶺派出所員にまで喰つてかゝるの暴行に領警署に留置されたが醉の醒めた廿七日は係官の前に平謝りにあやまつて將來を嚴重訓戒の上釋放された

準硬式野球
九日目は需品局惜敗
あすは準優勝戰

本社主催準硬野球大會はファンの熱狂裡に試合が進められ愈よ優勝戰まであと二、三試合となり鎬をけづる接戰に興味が高まつて居る、第九日目電々對需品局の試合は兩軍攻守共に甲乙なく接戰に接戰を重ね延長戰を思はせたが七、八回の混戰で遂に七對六で需品局が惜敗した

スコア

電々	1	0	0	0	0	0	4	2	0	7
需品局	0	0	0	0	1	1	0	4	0	6

電々　本村遊、葉中、込右、本捕、川一、倉左、井三、蓬投、笠二
需品局　沼中、木一、村遊、水右、花二、田三、窪左、長投、赤捕(以下不鮮明)

なほ二十八日は司法部對保稅俱樂部(午後一時)、金融合作社對實業A(午後四時)二試合が行はれ二十九日に準優勝戰、十月一日に決勝戰の豫定である

淨月潭
秋季探勝會
澤山な賞品の山
さて誰の手に

秋酣の郊外に健康をたゝへんと新京バス會社と本社が市民に贈る十月三日の淨月潭秋季探勝會は健康增進の上から絕讃を蒙り申込み殺到し既に定員に達せんとして居るが更に行を盛んならしめるための美人變裝探し、寶探しが人氣を呼び婦人、子供の話題を賑はして居る、なほ日本橋通り平本洋行からこの催しに贊同し美人探し、寶探しに左の賞品の寄贈があり一層興味を添へてゐる

▲美人變裝探し　一等大石目皮ボストンバック、二等三つ抽出し鏡台脇置、三等靴下半打、四等中又、五等、六等中又、靴下

▲變裝美人　一等商品券十圓、二等同四圓、三等二圓、四等一圓五十錢、五等六等一圓宛

▲寶探し　一等大鏡台、二等化粧トランク、三等ハンドバック、四等靴下、五等中又(商品は平木洋行の吉野町新店舖で引換する)

戰鬪準備教育
けふから未教育補充兵に
鄉軍第四分會が商業校で

在鄉軍人新京聯合分會第四分會では未教育補充兵に對し時局に對する認識を深刻に徹底せしめ且つ應召後特別の教育を受けずして直ちに戰地に派遣せらるゝも個人としての戰鬪行爲をなし得る能力を保有させることを主眼とし豫て兵用區分に基く軍役の基礎動作を理解せしめ併せて勅諭の主旨並に軍紀に重點を置き小銃射擊、銃劍、短劍術の基礎教育を徹底し自信を以つて戰場の一員として直ちに第一線に臨み得る如く教育を實施する目的のもとに二十八日から十月四日まで每日午後四時三十分から六時三十分まで新京商業學校々庭に於て十二年度第二回未教育補充兵教育を行ふことになつた、每日の日程は左の如くである

▲二十八日自午後四時三十分至六時三十分徒手各個教練、銃劍術、精神講話
▲二十九日自午後四時三十分至六時三十分徒手各個教練、執銃各個教練、銃劍術、精神講話
▲三十日自午後四時三十分至六時三十分執銃各個教練、銃劍術
▲十月一日同上
▲二日自午後四時三十分至六時三十分執銃教練、銃劍術、狹窄射擊
▲三日自午後一時至六時實包射擊
▲四日自午後四時三十分至六時三十分精神講話終了式

下九台
不正業檢索

領警署司法係は廿七日下九台領警管內に於ける阿片、麻藥等禁制品密賣の不正業者に對し一齊檢索を實施內鮮人五名

皇軍慰問獻金
木村壽雄氏が寄託

新京高砂町四ノ二木村壽雄氏は二十七日本社を訪れまことに些少ですが皇軍慰問金にお加へ下さいと金五圓を寄託されたので本社では直ちに關東軍司令部に廻送獻金の手續をとつた

五十圓持逃

特別市大經路一一號アカシヤ洗布所外交員本籍宮崎縣廣瀨村下中横山榮(二八)は廿七日午後八時頃店の金五十圓餘を持參外出したまゝ歸宅せず行方不明のため店主山本氏より領警署へ搜查願出があつた

を檢束目下取調べ中である

慶弔電報扱
文例を增加し
一日より開始

九月一日より實施した慶弔電報は慶祝、弔慰それぐ適應したる色刷式紙で配達され、發信の際は例文電報ならば選擇した文例の外發信人の住所氏名を書いても最低料金で打電出來るので各方面より好評を博し利用者の增加を見つゝあるが十月一日より出征軍人への祝賀文其の他を追加し和文の取扱範圍を日本內地、台灣、朝鮮へ擴張するので便利となつた

料金は文例使用のものは日本內地、台灣宛一通金四十錢、朝鮮宛一通金卅錢である(任意文は一般私報料金に同じ)問合せは各電報局及電話案內係(電話三、五〇三八番)へ尋ねられたい

追加された文例

略號	文例
慶祝文	
出發　ヤ	晴ノ鹿島立ヲ祝シ一路御平安ヲ祈ル
出征　マ	御出征ヲ祝シ皇國ノタメ御奮鬪ヲ祈ル
弔慰文(文例中(ヲ削除ス)	
番號　九	御尊父樣の御逝去ヲ悼ミ謹ミテ御悔ミ申シマス
一〇	御母堂樣ノ御逝去ヲ悼ミ謹ミテ御悔ミ申シマス

小松女史講演會

東京聖和學苑々長小松千子女史の婦德涵養、時局認識に關する講演會は二十八日午前十時から西廣場滿鐵俱樂部で開催されたが聽衆堂に溢れ盛況であつた【寫眞は講演會】

長春兩級中學
第三回運動會

吉林省立長春兩級中學校第三回運動會は二十五日開催のところ雨天の爲延期されてゐたが二十八日午前八時より西三道街の校庭に於て擧行された先づ一同集合の上校旗奉迎日滿兩國旗掲揚、會長訓詞學生宣誓、運動會歌を合唱の上競技に入り建國體操、敵機襲來、敵在何處呢等時局柄勇ましい競技に觀衆をわき立たせ久方振りの好天氣に競技は次々と進められ最後に得點報告、優勝旗授與、會長講評、國歌合唱裡に國旗降下、校旗奉送の後萬歲を三唱して午後五時頃終了した

于總監卡倫へ

于首都警察總監は關口副總監以下を帶同し管下卡倫警察署檢閱のため二十七日午前十時卅五分新京發列車で卡倫へ向つた

電業新重役來社

廿七日就任式を擧行した電業新重役

社長丁鑑修、副社長山崎元幹、常務取締役大津留聰、石橋米一、啓彬、取締役岡雄一郞、大磯義勇、趙壽芳監査役高橋貫一、鐘毓氏は打揃つて廿八日午前十一時半新任挨拶に來社した

小池寬氏來社

前滿洲電業常務董事小池寬氏は二十七日退任挨拶に來社、因に氏は來る三十日午前十時發列車で高橋仁一氏と同時に離京する

三江省視察團

三江省各縣民間有力者の國內視察團一行は二十七日午後六時二十分到着のところ豫定を變更二十八日午前八時二十分着列車で到着することとなつた

あす(二十九日)

▲煤煙防止委員會、午後四時半、軍人會館

今晚の主なる演藝放送

▲八・〇〇琵琶「關ケ原」(東京)田中旭嶺▲八・五五連續ラヂオドラマ第二夜「赤穗義士」(大阪)▲一〇・一〇ニユース回放送▲一〇・三〇北滿の時間

察哈爾出征軍へ
感謝狀を贈る
全滿記者聯盟が慰問し

說明

全滿記者聯盟では今回第二回皇軍慰問使を派遣したが、これに先だち高柳保太郞氏初め代表者は二十八日正午東條參謀長を軍司令部に訪問慰問行に關して挨拶した

察哈爾方面出征軍慰問使滿洲弘報協會寒河江理事、細野奉天日日新聞社長、窪田撫順新報社長の三氏は全滿記者聯盟を代表し察哈爾、綏遠方面において活躍非常な武勳を擧げつゝある日滿蒙各軍の將兵を慰問するため廿八日午後二時十分發あじあで新京出發奉天經由北支、察哈爾方面に向ふことゝなつた【寫眞は寒河江理事、細野奉日社長、窪田撫新社長】

感謝狀

北支事變勃發以來帝國は常に公明の態度を堅持し隱忍自重、只管事態の不擴大に努めたるも信義を無視する暴虐不遜の支那は遂に何等反省考慮を示さず、倨傲自ら揣らずして却つて全面的抗日態勢を强化し北支に中支に皇軍と戰火を交ふるに至れり

事態既にこゝに到る、帝國は事變不擴大方針を一擲して長期膺懲の大意を決し暴戾支那軍閥膺懲の師を進むるや皇軍一度蹶起するや向ふところ敵なく隨所に支那軍を擊破粉碎し連戰連勝皇軍の武威を宇內に發揚して洽し此秋に當りわが察哈爾作戰兵團の將士は國權の伸張に晝夜を分たず國威の發揚に身命を忘れ、東洋平和確立の聖戰に奔馳せらるゝその辛勞は洵に想察に餘りありといふべく日滿兩帝國々民の感謝措く能はざる處なりしかりと雖も時局はいよいよ重大にしてますノ〈前途の多事を想はしむるものあり、これこの際兩國々民が心を一にして全軍將士の御健闘を切望し併せてその武運長久を祈念する所なり、こゝに全滿言論界の誠を纒め赤誠を披瀝して感謝の微辭を陳ぶ

吳服商を看板に
押入にはヘロ隱匿
不正業旅館で御用

二十七日午後十時頃領警署谷口、岩田、橘葉三刑事は祝町萬寶旅館を臨檢したが投宿中の本籍福島縣西白河郡矢吹町大字矢吹、奉天在住吳服商小山泉雄(五二)及妻女きぬ(五一)の夫婦者の擧動に不審の點あり本署に連行取調べたところ右は表面吳服京染商の看板を揭げてはゐるが、その實裏面に於ては禁制品の麻藥密賣を本業とする不逞漢で曩に全滿一齊に行はれた不正業者の檢索に際し奉天署の檢擧の網を巧みに逃れて廿六日來京前記旅館に投宿中逮捕されたものであつた、尚旅館の押入には價格約一千四百圓のヘロインを隱匿せるを發見し押收して引上げた、目下余罪嚴重取調べ中である

各校生選拔試合
十月九日敷島高女で

新京教育會秋季大會は來る十月九日午後一時半より敷島高等女學校で開催に決定した、當日は豫算議決、決算報告、事業報告、會員演說等の恒例行事終了後二時半の豫定で以て懇親體育會を開催、各校より選拔された選手が紅(小學校側)白(中等學校、普通學校、公學校)に分れてバレー球、野テニスの各試合を擧行する

赤西蠣太 けふからの新京キネマ

新京キネマ廿八日よりの番組は左の如く日活二番線二本を配した三本立編成である

▽日活多摩川「戀愛と結婚の書」前後篇 菊池寛原作小說の映畫化、小杉勇、杉狂兒、島耕二、中田弘二、見明凡太郎、星ひかる、沖悅二、村田宏壽、星玲子、花柳小菊、澤村貞子、西條エリ子、市川春代等主演、阿部豊がメガフォンをとつて戀愛と結婚の聖典を語る、テーマの判つきりしてゐるのと、出演者の顏ぶれが魅力である

▽日活京都「赤西蠣太」これは又素晴らしい作品である、映畫と文學がこれ程快心の握手を見せた例は時代映畫において嘗て他にあつた事を知らない、巷間傳へられるところの伊達騷動に踊り聞者赤西蠣太の飄逸愛すべき姿と行動が描き出されてゐる、志賀直哉の原作を把えて伊丹萬作が快調を見せ、片岡千惠藏二役の他に杉山昌三九、上山草人、關操、原健作、毛利峰子、梅村蓉子、瀨川路三郎、尾上華丈等助演、秋シーズンに再翫味さるべき佳篇

▽新興京都「忍術大阪城」壽々木多呂九平の監督するおなぐさみ、尾上菊太郎、白石明子、千代田勝太郎、松本田三郎主演、愛すべき豆本趣味

永遠の戰場 けふからの銀座キネマ

銀座キネマ廿八日よりの番組は左の如くフオックス作品に新興二番線を配した三本立である

▽フオックス「永遠の戰場」フレデリツク・マーチ、ワーナー・バクスター、ライオネル・バリモアの顏合せする映畫で、歐洲大戰を背景に壯絕なる戰場に展げられる彈雨下の父と子の愛情に、美しい乙女を中に若き士官二人の戀の相剋が綾となつて絡る、ダリル・ザナツクの企畫下にハワード・ホークスが監督に當る、ジユーン・ラング、グレゴリー・ラフト助演

▽新興大泉「美人自叙傳」佐々木邦の原作小說の映畫化、青山三郎の監督作品で封切當時のこの會社の低調な作品中ではよく出來てゐるものであつた、立松晃、毛利峰子、松平龍子、野邊かほる、田中筆子、春日芳子等主演

男の償ひ後篇

▽松竹大船、嵐の夜不逞の兄を追つて夕霧樓を去つた滋は煩はしい肉親の一切を捨てゝ己の研究に沒頭すべく凍深い山中に身を隱した、然し殘された妻壽美のその後は主なき夕霧樓の沒落と共に重なる不幸の深淵に呑まれて行つた、先きに愛人を捨て、今又現在の妻を見殺しにしやうとする滋、男であるならぞ出でてこの罪を償へ—と吉屋信子女史の原作は言ふ、前篇同樣野田高梧のシナリオ、野村浩將の監督田中、佐分利、桑野、夏川、河村、吉川、岩田、武田等キャストも同じ、長春座一日封切

百萬弗を稼ぐ映畫 アメリカにはザラにある

◇…一九三六—七年にわたつてアメリカで發賣した映畫は約四百本、その中今までに百萬弗に近い製作費をかけそれ以上の收益を擧げた映畫は四十本、つまり總計の一割がヒツトしてゐる勘定だ、試みにその映畫題名と稼ぎ高を揭げて見よう、最高はメトロの『巨星ジーグフエルド』で五百五十萬、この中三百萬は米國內で擧げてゐる、製作費二百萬として正に三百五十萬の儲だ、同社の『夕陽特急』は百萬で完成して今日正に三百五十萬を得てゐる

◇…ワーナーの『風雲兒アドヴアス』は百萬ドルかけて四百萬ドル擧げ、ユナイトの『スターの誕生』は百四十萬ドルの製作費で三百萬ドルを得てゐるが、これは更にふえる筈だ

◇…パ社の『ワイキキの結婚』は百十萬ドルで作り、今日までに百五十萬ドルを回收し『平原兒』『一九三七年の大放送』と同じ位の利益率を示してゐる

◇…廿世紀フオツクスの『張り切り人生』(未輸入)は七十五萬ドルで作られながら百五十萬ドルを回收してゐるが、更に米國外で當ればもつと大きな儲になる

◇…RKOの『有頂天時代』も百萬ドルで製作された映畫で、今日の處二百五十萬は擧げてゐる、コロムビアの『失はれた地平線』は正味百萬かけて總上り百五十萬見當

◇…メトロの『大地』は封切後忽ち七十萬を回收して將來性を期待され、二十世紀フォックスのソニア・ヘニー第一回映畫『銀盤の女王』は『ベビー・シング・ベビー』『オン・ゼ・アヴエニユ』と同樣に、音樂映畫の平均製作費百萬以內で完成され、優に二百萬は擧げてゐる、『ロイズ・オブ・ロンドン(勝鬨)』は英國だけで五十萬を得た

さぼてん

精養軒のときゑクンは映畫ファンであり浪曲ファンである そして林長二郎と酒井雲はこの人にとつて絕對である▼即ち長二郎の出る映畫ならば質入置いても見にゆくのだと言ふし、雲を聽くためには三年位ゐの年期奉公をしてもいゝといふのぼせ方である▼かるが故に長二郎をくさし、雲の惡口を言ふ時においては眼をいからしロをとんがらかして憤慨抗議する、お客、そこらの男ども糞喰へである▼ところで何處にさう徹底したかと理由を訊くと、長二郎はあの顏がいゝんださうで、雲はあの顏付きが好きなんだといふ これでは逆樣と思ふのであるが、理窟は何んとでもつくらしい、逆又眞なりと言ふのであらう

雜音

新京キネマ、銀座キネマけふから寫眞替り、新キネの「赤西蠣太」は嬉しいものゝ再登場、「戀愛と結婚の書」と組んで質量ある番組となつた▼銀キネはフオツクスの「永遠の戰場」が呼びもの、ハワード・ホークスの許でどれだけの力量を發揮してゐるか、折よく際ものとなつてこれは興味をそゝるであらう、後に備へた新興二番プロも惡くはない▼長春座は一日から「男の償ひ」の後篇が揚る、ヘップバーンとフランチヨット・トーンの「僞裝の女」と「幽靈花聟」が加はつて、これ又絕大な呼びものとはならう

水曜 巳未 友引 開 壁宿　舊八月廿五日　九月二十九日

●一白の人 雨に萎るゝ花の如く色褪せて見る影もなし 辛と戌と亥が吉
●二黑の人 萬事縮小するに安全なり普請轉宅開店等凶 丁と壬と癸が吉
●三碧の人 我慾のみを逞ふすれば大失敗を蒙る事あり 甲と乙と辛が吉
●四綠の人 獨立にて事を企つる時は仕損じ多かるべし 甲と乙と辛が吉
●五黃の人 途中にて氣迷ひを生じ敗れを招くことあり 丁と癸と丑が吉
●六白の人 證書の捺印に警戒せざれば後日に迷惑あり 丁と壬と丑が吉
●七赤の人 萬事順調に進展する日起業開店旅行轉宅吉 壬と癸と丑が吉
●八白の人 安心に過ぐるは不運の種を蒔くが如し注意 丁と壬と癸が吉
●九紫の人 大幸運の日起業開店普請等將來の基礎固る 乙と辛と丑が吉

全面的資源調査に 資源調査法公布
調査機關は統計處を主體とす

滿洲國政府では日本の資源局の事業と同様の趣旨による全面的資源調査を行ふ事となり右調査における調査者たる政府の權限と被調査者の義務とを規定せる資源調査法を公布するに決定、案文を練つてゐたが成案を得たのでいよいよ遠からず國務院會議に附議し所要の手續を經て十月中に公布することゝなつた、右調査法の關係する資源は鑛工業、農業、林業その他產業各班の物的資源のみならず生產輸送軍事に關するあらゆる人的要素及び諸施設をも包含してゐる、しかして右に關係せる調査當局としては一時傳へられた統合的調査機關は結局その設立を見ず、國務院統計處が主體となり政府各部を手足として各般資源の調査に當る筈で、從つて僅か數項より成る資源調査法の公布と同時に政府各部より部令を以て多岐にわたる施行細則を公布する豫定である

朝鮮に於ける洋灰減產決定
三分擴張の三割九分に

セメント聯合會ではさきに內地に於けるセメントの九月より十一月までの限產率を前期より四分擴張の六割と決定し朝鮮の限產率については過般來總督府と折衝中のところこの程諒解成り朝鮮に於ける限產率を前期より三分擴張の三割九分となす旨決定した、右限產率は十一月末朝鮮に於けるセメント及びクリンカーの在荷高を四萬トンとなすべき規定の下に決定されたもので聯合會としては六月から操業開始した朝鮮宇部(月產能力約三萬トン)及十月から操業豫定の朝鮮淺野(月產能力約一萬トン)を考慮に入れ一般時局關係で朝鮮に於いても輸送機關が圓滑を缺く點を考慮して本期減產率大幅擴張の見解を把持してゐたが數度の折衝の結果遂に現地總督府の見解に基いて僅か三分の擴張に止めたものである、なほ今期減產率は內地に於ける場合と同じく時局柄「今後每月の理事會で檢討し變更することあるべし」との條件付決定である

興銀支配人會議での總裁挨拶(下)

次に當行債券の發行に就ては日本起債市場現下の情勢より見て近く其の實現を期待することは困難かとも考へられますが滿洲國政府に於ては國民貯蓄の獎勵、零細資金の蒐集の見地より割增金付儲蓄債券發行の計畫を樹て目下其の準備を進められて居り、其の實現の際は當行に於て其の發行を引受くることゝなるものと承知して居ります、本債券は時局關係上特に有意義なものであり當行としても手切の發行でありますから、今より萬端の準備を整へ充分の成績を擧げ得る樣各店の御努力を希望する次第であります、政府の計畫愈々決定を見たる上は更に具體的に御相談致したい思つて居ります

更に資金運用の方面に關しましては、當行今後の資金運用は政府當局に於て決定せらるべき資金統制の指導方針に遵ひ資金の使途及其の必要の緩急を甄別し、取捨按排宜きを得る樣に致し度いと考へます

唯此の點に關し特に諸君の注意を乞ひたいのは產業開發五ヶ年計畫と中小金融との關係であります、中小金融の維持助長に就ては當行開業以來凡ゆる機會に於て諸君の考慮を煩はし來つた所でありまして幸に今日迄相當の成績を擧げ得た樣信じますが、叙上五ヶ年計畫の下に於ては國防の充實、生產の擴充に急なる爲め大企業のみが重視せられ稍もすれば中小企業は閑却せられ勝ちであります、併乍大企業獨り榮えましても中小企業が之と並んで各其の所を得るにあらざれば國防の充實、產業の發展も結局跛行的なものとならざるを得ないのであります、故に銀行家としては常に此の點を考慮し、中小業者に對する金融に就ても之を疎にせざる樣注意することが大切と考へます。尤も此の種中小階級の金融は之に對する融通金額の多少のみを以て論ずべきものではありませぬ、彼等中小業者の多くは孤立無援で業務上信頼すべき相談相手のないと謂ふ惱みを持つて居りますから銀行業者は其の相談相手となり「指導金融」の精神を以て懇切に指導誘掖し其の育成を計ることが何より肝要と信じます

當行の營業振に對する彼是の世評に關しては前回の支配人會議の際にも一言致しましたが、其の後も多少の批評を耳にするのであります、固より私共は之等の巷說を其の儘取上げて云々するものではありませぬが當行が新設の特殊銀行として獨占的地位に居るものと見られて居る關係上、之等の世評に對しては虚心坦懷能く耳を傾け、其の理あるものに對しては、速に之が改善に力むると共に其の當を得ざるものに對しては然らざる所以を充分說明して斯かる世評を絶ち度いと思ひます、而して銀行としては店頭のサーヴイスが一番大切でありますが世評の一端はサーヴイスの弛緩に因る所大なるものあることを考慮せられ、支配人自ら店頭に立つて、範を垂れ行員を指導訓練して顧客の應接に遺憾なきことを期せられ度いのであります

又貸出金に對する支配人の專行範圍擴張に就て內外より希望の聲を聽きますが、現行の限度は開業匆々の暫定的のものであり、業務統制の必要より多少窮屈に過ぐるものあつたかと考へ、目下本部に於ても改訂方研究中でありまして速に成案を得て今後支店の活動を一層敏活に致し度いと思つて居ります

次に當行開業以來行員の融和は懸念せられて居つた所でありますが、幸に行員諸君の理解と協調とに依り至極圓滿に參つて居ることは洵に喜ばしい所であります、又業務の進展に伴ひ各店より行員の手不足を愬へ來る向もありますが之は漸を逐うて充實する考へであります。併し現在に於ても人繰り等の上に於て所謂適材適所主義に依り按配宜敷を得るに於ては充分其の缺を補ひ能率を擧げる餘地ありと考へます、尙當行今後の發展は有能行員の養成に俟つこと大でありますから支配人諸君は其の指導訓練に就き此上とも充分御配意あらんことを希望致します

以上諸君と親しく會談の機を得て私の所見の大要を申し述べたに過ぎませぬ、業務上其の他細部に亘りましては夫々所管課長より協議することとなつて居りますから腹藏なく充分御討議せられんことを希望致します

事變渦中の上海 物資缺乏に惱む
野菜類は十八割の暴騰

【上海廿七日發國通】事變勃發以來當地の物資は著しく缺乏を告げ、一般物價は暴騰を演じてゐるが、取りわけ食糧品類の値上り最も甚しく、米の三割七步高を最低とし野菜類の如きは十五割乃至十八割といふ法外な騰貴振りを示してゐる、主要食糧品について事變前と現在とを比較すると左の如くである

	事變前	九月十八日	騰貴率
米(一ピクル)	一三圓五〇	一八圓五〇	三割七步
鹽魚(一斤に付)	二二	五〇	一二、七
野菜(同)	四	一〇	一五、〇
醬油(同)	一〇	二八	一八、〇
牛肉(一磅)	三六	五〇	三、九
豚肉(同)	四四	七〇	五、九

半島の爆藥需要 約六割の激增

【京城支局】總督府の積極的產業開發政策の潮に乘り半島の爆藥需要額は異常な激增振りを示し、更に續々勃興しつゝある石炭、金屬、鑛山、水力開發方針等により本年度の消費高は優に卅萬函突破は確實視されることになつた、即ち前年度の實績十九萬函に對し十一萬函約六割の激增となり朝鮮としては新記錄を作ることになるが此の結果現在の操業能力では半島の需給に一杯々々の狀態であるので結局朝鮮火藥の內地輸出は殆んど絶望視されるに至り鮮內爆藥界は漸やく多事ならんとしてゐる

內外に亘つて 資金の統制へ
臨時資金調整法の作用

大藏省は先般の議會に臨時資金調整法案及び外國爲替管理法中改正法律案を提出した、その名の示す通り兩者は必ずしも直接の關聯を有する法案ではないがその內容を見ると關聯せざる所少からず、特に今回の外國爲替管理法改正は主として在外資金の統制に關するもので、これによつて內外に亘る資金の國家統制が實現されることになつて居る、而して兩法案を通じてその及ぶ範圍は極めて廣汎であり現下の非常時經濟立法として最も重きをなすものである

□

法案によると、臨時資金調整法は「支那事變に關聯し、物資及び資金の需給の適合に資するため國內資金の使用を調整するを目的とす」といふのであつて、その目的とする所極めて大なるを一見明らかにしてゐる、そしてこれに依つて政府の行はんとする要點は大體次の如くである

□

事業會社が事業設備の新設、擴張若くは改良を行はんとするのに對して一般的に許可制を布き、資金の使用に制限を加へる、この統制は二重の方法を通じて行はれる、即ち先づ銀行、信託會社、保險會社信用組合等の金融機關若しくは證券引受業者が事業資金の供給をなし若くはその取扱を行ふ場合には命令の定むる所に依つて政府の許可を受けなければならぬ、と同時に一方命令の定むる會社の設立、資本增加、合併又は目的變更は政府の認可を受くるに非ればその效力を生ぜぬことゝなりまた未拂込株金の徵收、自己資金に依る事業設備の新設、擴張又は改良をなすに際しては政府の許可を得なければならぬ、而して之等の許可又は認可に關する事務は日本銀行をして取扱はしめ、許可又は認可を與ふべきや否やの標準は別に勅令の定むる臨時資金審査委員會の議を經て行ふことになつてゐる

□

以上が世上に傳へられてゐる最狹義の資金統制であつてその目的とする所はいふまでもなく資金使用の制限及びそれを通じての事業設備用物資の使用制限をなさんとするにある、而して之が實際の運用に當つては一、原則として許可を與ふべき事業、二、原則として許可せざる事業、三、國防との關係、國際收支との關係その他諸般の事情を考慮して擴張新設を許すべきや否やを個々に決定すべき事業と三大別して出來るだけ詳細に明示して置き無用の繁雜と不安とを避ける方針のやうである

臺灣茶展示會

臺灣茶商公會主催の臺灣茶展示會は來る三十日午後一時より記念公會堂二階で開催されることゝなつた

商況欄 (廿八日前場)

海外經濟電報

- 倫敦金塊 七磅〇志四片二分一
- 紐育金塊 三五弗〇〇
- 倫敦銀塊 一九片一六分三五
- 同先限 一九片一六分三五
- 孟買銀塊 五一留比〇〇
- スチール株 八三弗〇〇
- アナコンダ株 四〇弗二分一

市俄古小麥

- 九月限 一弗〇六仙四分一
- 十二月限 一弗〇七仙八分五
- 五月限 一弗〇八仙四分一

紐育棉花

- 現物 八仙六二
- 十月限 八仙四七
- 十二月限 八仙三三
- 一月限 八仙二五
- 三月限 八仙四一
- 五月限 八仙四九
- 七月限 八仙五八

印棉

- ブローチ 一七六留比
- オームラ 一五六留比
- ベンゴール 一三四留比

カルカツタ麻袋

- 青筋 一三留比八分七
- 鐵筋 二一留比八分五

外國爲替

- 英米爲替 四弗九五仙二〇
- 米日爲替 二八弗八七仙
- 米支爲替 二九弗九〇仙
- 英日爲替 一志二片〇〇
- 英支爲替 一志二片四分三
- 印日爲替 七七留比二分一

阪神爲替

- 對米 賣 二八弗 一六分二 / 買 二八弗 四分〇
- 對英 賣 一志二片〇〇 / 買 一志 賣建値

各地株式市況

▲東京株式(短期) 寄付・大引 [illegible]

▲大阪株式(短期) 寄付・大引 [illegible]

▲大連株式(短期) [illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸 寄付・大引 [illegible]

▲大阪棉花 [illegible]

▲大阪人絹 [illegible]

▲大阪期米 [illegible]

▲橫濱生糸 [illegible]

各地特產市況

▲新京 現物(一石値段) 寄引 出來高 [illegible]

▲大連 豆 寄付・大引 [illegible]

白い天使 (一〇五)
(禁上演上映)
林房雄作　吉田貫里畫

藪汁(二)

『お前の結婚だけが、唯一の活路だといふ、みぢめな立場におかれてゐるが、ぼくの現在なのだ』

『……………』

『相手といふのは、藤本惣兵衛の娘だが……』

『藤本? 高利貸の藤本です?……』

『さうだ。ぼくは、あいつに、身うごきのされないほどの借金を背負はされてゐる。ぼくは、あいつの手で首をしめられかけてゐるのだ。……ところが、幸ひ、藤本には年頃の娘がゐてね。莫大な持參金をつけるといふのだが、どうしたわけか、まだ相手がみつからぬ。それて……』

『よしてください、兄さん』

秀夫はたちあがつた。

『なんといふ恥知らずなことをいふのです。ほかのことなら、ともかく、そんな腐れきつた政略結婚をぼくにすゝめるとは、なにごとです! そんな娘と、どうしても結婚しなければならないのだつたら、兄さん、自分でやつたらいゝぢやありませんか?——ぼくには、弘子がゐます。ぼくは弘子と明日にも結婚しようと思つてゐるのです』

『えゝ、弘子と結婚する?』

田中は、一歩ひきさがると兩手をひろげて大げさなおどろきかたをしてみせた。

『秀夫、お前は正氣でそれをいつてゐるのかい?』

『むろんです?』

『おや、おや。——とんだことになつたものだ』

兩手を、うしろにくんで、部屋の中でぐるぐる歩いてゐたが、こらへきれないといつた風に笑ひだして。

『あつはつは、あつはつは——これは、おかしい。いくらお前が間ぬけだといつても、是程だとは思はなかつたよ。あつはつは——』

『なにが間ぬけです?』

『だつて、お前。……あつはつは……あゝ苦しい。腹の皮がよれる。……なぜつて、お前、弘子は、僕のお古ぢやないか?……』

『うそです、兄さんは弘子を誘惑しようとして、失敗した男にすぎないんだ!』

『お前が、さう信じてゐるらしいのが、なほさら、おかしくてならんよ。だつて、考へても見るがいゝ。弘子は半年近くも僕の世話になつてゐたんだぜ。ぼくと同棲さへしてゐたのぢやないか? 男と女が一しよにゐてなにごともおこらなかつたと、考へられるかい? 神樣ぢやあるまいし。……もつとも、女は口がうまいからね、お前みたいなお坊つちやんが、ごまかされるのは、むりもない。……さういへば、弘子は、技巧的な嘘をつくのが上手だつたな。その上手なうそが、一種の魅力でもあつた。現に、このぼくすら、ごまかされたんだ。だつて、あいつは、ぼくに向つて、いかにも處女らしくふるまつてゐたが、ぼくの前にも、いろんな男を知つてゐたんだよ。福井の食堂にゐるころから一人前の不良少女だつたんだよ。だから、今から考へれば、誘惑されたのは、かへつて、ぼくの方だといふことになる……』

大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢（郵税一ケ月拾五錢）
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三三二五 營業局專用（3）三三二〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

わが荒鷲部隊、北中南支の空を震撼！

【○○根據地廿八日發國通】數日來河間縣、獻縣、阜城等の中部戰線方面の敵を爆擊した中富部隊は、さらに廿八日午前九時中部隊線に於て大城、沙河橋と子牙河に沿ひ獻縣に向ひ前進攻擊のわが地上部隊に協力すべく笹尾隊の大編隊は子牙河交通の要衝藏家橋を爆擊し、地上部隊の進擊を容易ならしめた、藏家橋は獻縣以北隨一の要地であるが、數度の爆擊により大損害を蒙り、獻縣の運命は正に風前の灯である

【上海廿八日發國通】海軍航空隊岡村少佐の率ゐる空の精鋭は廿八日早朝朝靄を衝いて廣德飛行場を空襲、敵の高角砲および機銃の亂射の中を格納庫および兵舍に徹底的爆擊を加へて無事歸還した

【上海廿八日發國通】和田部隊の南京空襲と相前後し、田中大尉の指揮する田中、江草、南鄕各部隊は廿八日午後一時半頃蕪湖飛行場を空襲、一大爆擊を敢行した

【上海廿八日發國通】わが海軍航空隊○○機は和田少佐指揮の下に廿八日午後一時半頃（滿洲時間）南京空襲を決行し南京の練兵場兼飛行場たる大校場を爆擊破壞した

【上海廿八日發國通】連日にわたり南京空襲を決行してゐるわが海軍航空隊は南京殘敵に最後のとゞめを刺すことゝなり廿八日午後一時四十五分和田少佐の指揮する部隊は雨雲深き惡天候を冒し南京城外紫金山麓大校場飛行場を爆擊これを徹底的に粉碎し、また一部高橋部隊は同時刻頃句容飛行場に爆擊を加へ格納庫一棟および同庫にあつたカーチスホーク二型戰鬪機二機を爆破した、わが和田部隊が南京上空に達するや敵機數機が飛びあがり挑戰し來つたが、空中戰鬪の結果寺松一等航空兵曹の一機は見事敵一機を射止め浦口松林の中に擊墜せしめ、他の三機は雲間に隱れて遁走した、われに損害なし

【上海廿八日發國通】海軍航空部隊○○機は小倉中尉、柴田一等航空兵曹、北島中尉、駒形中尉編隊長となり、午前十一時より午前四時にわたり閘北一帶敵砲兵、重機關銃陣地に連續的爆擊を加へた、この日雲低く敵は高射砲、機關銃の亂射をあびせ來つたが、悠々閘北上空を飛翔し見事に水平爆擊を行つた

【旅順國通】旅順要港部廿八日午後六時發表＝數日來某市に待機中のわが○○艦隊航空部隊は廿八日午前勇躍○○機をもつて隴海線方面に進擊、徐州を爆擊敵の防空陣地より猛射を受けしもこれを反擊軍需倉庫、軍用列車、停車場を確實に爆破せり、

【香港廿八日發國通】わが海軍航空部隊が虎門砲臺爆擊の際必ず飛び來つて刄向ふ敵戰鬪機があるのでその根據を探索中のところ、澳門の北廿哩の唐家灣に軍用根據地のあるのを探知し、廿八日朝七時これに爆擊を加へ破壞した

【香港廿八日發國通】廣東爆擊におけるわが海軍航空隊は連日連夜息もつかせぬ猛攻振りで、既に廣東市內に[illegible]は殆ど抵抗力を喪失してしまつたが、わが空軍は最後の一押しとして廿八日午前九時十五分から零時五十分に至る四時間の間[illegible]軍根據地を空襲し同地の軍用飛行場を爆擊粉碎した、過日わが軍のため大打擊を蒙つた廣東軍は同飛行場において新規購入機[illegible]損機の修理を急ぎつゝあつたところとて、この爆擊により廣東空軍は全滅の運命に陷つた、なほ廿八日午前八時より午前九時までわが空軍は虎門要塞にも爆擊を加へ多大の損害を與へた

陸軍服役と在營 期間延長令公布さる

【東京國通】迷夢醒めず依然長期抗日を標榜する暴戾支那軍に對し皇軍はいよ〳〵本格的の膺懲戰を行ふことゝなつたが、このため陸軍では廿八日省令第四十一號をもつて陸軍々人服役または在營期間延長の件を公布、即日施行することゝなつた、右要旨は左の如くである

一、動員部隊または事變地にある部隊に屬する現役、豫備役、後備役准士官、見習士官及び下士官現役兵（短期現役兵を除く）豫備ならびに後備兵又は第一補充兵で服役期間若くは在營期間の滿了するものは別命省令（第三條による）あるまでその期間を延長される

一、特別志願將校で服務期間が滿了するもの右に同じ

一、以上に關係あらざる普通の後備兵役、第一補充兵役の將兵も昭和十三年において服務滿了するものは特にこれを一年間延期される

參謀總長程潛を 北支軍總指揮に任命

【東京國通】廿八日正午陸軍省發表＝北支方面における作戰の失敗に鑑み蔣介石は今般參謀總長程潛を北支各作戰軍の總指揮に任命せるもの、如し

橋本中佐戰死

【天津廿八日發國通】橋本順正歩兵中佐は去る九月二十五日山西省靈邱縣小砦村附近の戰鬪において名譽の戰死を遂げた、同中佐はかつて支那駐屯軍參謀として勤務せしことあり、その戰死は痛く惜まれてゐる

茹越口の敵陣を擊破 內長城線に日章旗飜る！

【應縣廿八日發國通】○○軍を叱咤して內長城線の敵陣を擊破すべく第一線に向つた○○部隊長は、廿七日朝來敵彈雨飛の茹越口最前線に進出し、自ら第一線部隊を率ゐて突擊したゝめに全軍の士氣いやが上にも昂つた

【應縣廿八日發國通】廿七日內長城線の第一線陣地を攻略した○○軍後藤部隊は、廿八日午前一時四十八分猛烈な山岳戰により茹越口の敵陣を擊破し、太原平野を一目に見下す大行山嶺の內長城線高く日章旗を飜へした

【應縣廿八日發國通】內長城線茹越口の支那軍擊破の命をうけた○○軍の後藤部隊は、廿七日拂曉より友軍の砲擊及び航空隊の猛烈な爆擊掩護をうけて峨々峻嶮な大行山嶺の敵陣に向つて進擊を開始し、天嶮に據る敵の迫擊砲並に自動火器部隊を擊破し、午前十一時四十分茹越口第一線陣地を攻略し、その主力部隊は東の高地に、其一部は西南方高地の敵陣地に向つて進擊した、敵第一線陣地にはわが軍砲彈に斃れた支那軍の死體累々として横はりトーチカ陣地及び塹壕內には長期抵抗のため搬入された敵の彈藥、食糧が鮮血にまみれたまゝ多數遺棄されてゐた

【應縣廿八日發國通】廿八日未明の茹越口攻擊の內長城線山岳戰は砲車も通らぬ峻嶮な大行山嶺の要路で敵は天嶮に據つて頑張り大激戰であつた、この戰鬪でわが方の損害は重輕傷卅五名、敵の死傷算なし

【應縣廿八日發國通】○○軍のため退路を遮斷された茹越口附近の支那軍約二千五百は、廿八日午前四時血路を開かんとして規口前（茹越口北方）のわが方陣地に逆襲し來れるも、後藤部隊のため潰滅された

共產軍 平型關に進出

【北平廿八日發國通】朱德の率ゐる共產軍第八路軍は廿五日平型關（靈邱西南方五里）に進出した模樣である、なほ軍事委員會は廿七日附で朱德に察綏抗日前敵總指揮兼任を命じた

津浦線部隊 馮家口に進出

【天津廿八日發國通】津浦線方面のわが部隊は滄州占領後なほ强行進擊を續行、廿七日その先鋒はすでに馮家口に進出、廿八日朝敵を粉碎して南方に進擊、山東省境に迫る勢で進擊を續けてゐる、さらに同右翼部隊の先鋒部隊は中央中原奧深く突進すること八十キロ、南各庄、沙河橋をまたゝく間に席卷し無人の野を行くが如く廿八日朝藏家橋（獻縣北方約一キロ）に迫つた

戰死した杉本中佐は武道の達人

【北平廿八日發國通】靈邱南方一、六〇〇高地に於て壯烈な戰死を遂げた杉本五郎中佐は廣島市南三條町出身本年四十八歲、豪放をもつて鳴り士官學校在學當時より禪の修業に身心を鍛鍊し劍道は精練證の腕前、さながら古武士を思はせる典型的な武人で靑年將校崇拜の的となつてゐた人である、北支戰線參加は今回が二度目で遺品には士官學校當時の同期生が中佐に送つた日の丸に「死の○隊」と書いた血書の一む四尺の大きな旗が一本、それと生前中佐が師事した禪宗の僧侶から送られた軸一本であつた

津田、福井兩部隊 楊家宅の線に進出

上海戰線

【楊行鎭廿八日發國通】二十六日より楊行鎭南方大家宅、錢家灣の線に集結中の津田、福井兩部隊および加納部隊は廿八日拂曉砲兵部隊掩護射擊の下に猛然進擊を開始し午前八時早くも敵の最前線寶宅を攻略、ついで附近の老宅、張宅の敵を壓迫中であるが、午前九時山田砲兵部隊の正確なる集中射擊によつて老宅に火の手あがり目下炎々と焔を吹いてゐる、なほ廿七日の津田部隊の戰死者は步兵上等兵新庄義一一名である

【上海廿八日發國通】廿七日拂曉楊家巷に逆襲し來つた敵軍をして二百の死體を遺棄潰走せしめたわが新銳津田部隊は、廿八日早朝福井部隊と合し意氣軒昂、朝靄を衝いて進擊午前八時には早くも敵の第一線寶宅を占領、砲兵と密接な協力のもとに無人の野を行くが如く午前十一時半には楊家宅、楊樹宅、胡家宅の線を確保した、敵の遊擊隊は各地盤側西より奇襲を加へたがその都度これを擊退した

わが戰車隊 劉家行一角占領

【上海廿八日發國通】細見部隊麾下の戰車隊○○臺は二十八日午後一時半敵の猛擊を排し遂に劉家行北部に突入その一角を占領した

居宅、洪家宅を占據

【○○戰線にて二十八日發國通】○○部隊右翼高橋部隊長は廿□日夜來羅店鎭西北の敵部隊を擊滅すべく行動を開始し廿八日朝早くも居宅、洪家宅を占據、丁家橋方面へ潰走の敵を追擊中である

不時着機 英汽船に救る

【上海廿八日發國通】海軍報道部午後五時半發表＝廿七日廣東省樂昌方面を攻擊したわが海軍航空隊中の一機は同地上空において敵戰鬪機二機と空中戰を演じ一機を見事に射止め擊墜させたが、わが機も敵彈を受け故障を生じ歸還の途中四時頃東澎島燈臺西南方約四五浬の海上に不時着、折柄附近航行中のイギリス商船蘇州號がこれを認め搭乘員を救助、午後十一時頃搜査中のわが驅逐艦と邂逅、廿八日朝全員同艦に收容されたり、イギリス船蘇州號が荒天風浪を冒しての救助作業と適切なる處置に關しわが海軍當局は痛く感激してゐる

保定、滄州陷落す
わが軍堂々保定入城（上）と天津における保定、滄州陷落祝賀旗行列、バルコニーから應へる寺內大將（×印）

衆議院慰問團 上田團長一行來京

朔北の曠野に活躍する皇軍將士慰問のため本月十日東京を出發した衆議院北滿派遣軍隊慰問議員團上田孝吉團長以下多田、南條、長野、林、眞鍋、小畑、野口、羽田武各代議士江川守衛長、大坪屬の一行は甲斐々々しい從軍姿に身を固め雄基、圖們より牡丹江、大黑河、東寧、綏芬河の各地慰問を終へて元氣よく廿八日午後九時三十六分着列車で着京直ちに向陽ホテルに入つたが上田團長は左の如く視察感想を述べた

▲十日に東京出發以來僅かにハルビンで半日の自由な時間があつただけで實にハリキッた强行軍であつた、幸ひ各機關の御援助で豫定通り各地を慰問、團員に一名の病人も出ず元氣である北滿主要地で在營の兵士に對しては營庭で夫れ〴〵慰問の辭と決議文を傳へまた各停車驛では警備の兵士を通じて慰問の言葉を述べたが現在までの慰問軍隊及病院數は五十三の多きに達してゐる、奧地で兵士が野營してまでも警備の任に當つてゐたのをみて一同感慨無量であつた、國境方面の狀態に就いては相當關心を有つて來たが現地に行つて非常に平靜であるのに驚いた次第だが一方果しなき未開の曠野を眼前にみて內地の行詰つた農村問題の解決は滿洲移民の積極化にあると考へた

▲北滿を視察しつゝ現下の情勢を考察するとき今次の事變は東亞安定の最後的方策として當然であり吾が大陸政策の必然辿るべき途であると思つた、吾々政治家は此の點軍部に對して感謝すると共に擧國一致の戰時體制を事變後も繼續するに萬全を期す覺悟である、之がためには一國一黨の形もまた止むを得ないであらう【寫眞は驛頭の一行】

尙ほ新京の日程は左の如くである

二十九日午前八時新京神社參拜、八時十五分忠靈塔參拜、八時卅分軍司令部訪問八時卅五分植田軍司令官に挨拶、八時五十分幕僚の講話を聽取、十時十分軍司令部發十時三十分皇帝陛下に謁見、十時五十分駐滿海軍部訪問、十一時三十分國務院訪問、正午國務總理招宴午後一時三十分國都建設局訪問、午後二時三十分南嶺戰跡弔問、午後四時寬城子戰跡弔問、午後四時三十分滿鐵支社訪問、午後五時旅館歸着、午後六時三十分軍司令官招宴
三十日午前零時離京奉天經由北支に向ふ豫定

電業の暫定人事

滿洲電業では今次の軍役改選に伴ふ暫定的人事を左の如く發令した

工務部次長 參事 岡雄一郎
哈爾濱支店長 參事 大磯義勇
依願參事を免ず 常務取締役 大津留聰
總務部長事務取扱を命ず 常務取締役 石橋米一
經理部長事務取扱を命ず 常務取締役 啓彬
營業部長事務取扱を命ず 取締役 岡雄一郎
工務部長を命ず 取締役 大磯義勇
調査局長を命ず 大連支店營業課長 職員 加藤一郎
大連支店長代理兼務を命ず 哈爾濱支店工務課長 職員 平井新藏
哈爾濱支店長代理兼務を命ず

全滿記者聯盟 第二回將兵慰問使出發

全滿記者聯盟第二回慰問使滿洲弘報協會寒河江理事、窪田撫順新報社長の兩氏は高柳弘報協會理事長はじめ在京新聞通信關係者多數の盛大なる見送裡に二十八日午後二時十分發あじあで新京を出發したが、兩氏は奉天にて同じく代表の細野奉天日日新聞主幹と落合ひ山海關、天津、北平を經て隷下第一線部隊及び滿洲國軍、察哈爾作戰軍本部をはじめ蒙古軍等を歷訪朔北の地に暴支膺懲のため奮戰を續けてゐる各將兵を親しく慰問する豫定である

ソ支重大諒解成立か ボ駐支大使モスクワへ急行

【上海廿八日發國通】確報によればソ聯ボゴモロフ駐支大使は廿八日午前當地飛行機にて南京を出發モスクワに向つた

【上海廿八日發國通】ボゴモロフ大使のモスクワ急行に關し駐支ソ聯大使館は一切の言明を避けてゐるが、右は微妙なるソ支關係の將來に決定的動向を與ふべく重大要務を帶びるものなることは一般に信ぜられるところである、しかして一說には大使今回の歸國は既にソ支間に重大な或る種の諒解が原則的に成立せるためのものとみられてゐる、なほボゴモロフ大使は歐亞航空公司の旅客機により新疆を經て四日目にモスクワに到着する豫定である

引揚外人の通過を待ち 粤漢鐵路爆破（報道部談）

【上海廿八日發國通】粤漢線爆擊に關し第○艦隊報道部では談話の形式で左の如く發表した＝軍事上重要なる右鐵道の爆破を今日まで遲延せしめてゐたのは外人の引揚け前のため壞へ難きを忍んだものである

空爆の詳報

【上海廿八日發國通】艦隊報道部廿八日午前十時發表

△海軍航空隊廣東方面爆擊詳報

海軍航空隊は昨廿七日數回に亘り粤漢鐵路沿線方面を空襲せるがその詳細は

一、午前十時江村南方鐵橋及び銀盞坳、下關および附近鐵橋、琶江鐵橋を爆破しなほ廣東地方にて空中戰鬪の結果カーチス飛行機一機擊墜、從化飛行場にてファイット型飛行機を射擊炎燒せしむ

二、午後二時半頃よりさらに反復江村南方鐵橋を爆擊破壞、銀盞坳、郭塘間の鐵路を山間の隘路にて破壞線路を埋沒せしむ

偶語

滿洲事變當時張り切つてゐた國民の緊張も事變がおさまるにつれて次第に弛緩し▼流行歌の如きも勇壯な『討匪行』から漸次甘つたるいメロデーへと移行し▼『忘れちや嫌よ』『二人は若い』『ふんなのないわ』『あゝそれなのに』等々▼子女持つ人々をはら〳〵させるやうな淫詩俗歌で殺潰して終つた▼內務省ではその餘りにも良俗醇風を害するやうなものには發賣禁止を命じてゐたが▼今次支那事變の進展に伴ひ國民精神總動員を機に國民教化指導の役割を强調し▼軍歌の如きも內容の向上をはかり流行歌の如きは明朗堅實なものを除く以外は▼悉く原盤破棄といふ今まで類例のない大鐵槌を下し社會からこれを葬ることに決定した▼このことは一部流行歌を生命とする女流歌手には痛手かも知れぬが社會風教の上から見て當局近來の英斷として喜ぶべきことだ▼この卑俗な流行歌と共に今一つ劣惡極まる萬歲家に對しても徹底的取締る要があるであらう

社說　支那の長期抵抗

一

支那では日本に對して長期抵抗をなすといふことがすでに一般的信念となつてゐたやうである。「我々は戰略上持久戰をなさねばならぬ。全力をあげて敵に抵抗すべきではあるが、しかし餘力を出し盡して戰ひ、敵をして我が主力を擊破させ容易に勝利を得しめてはならぬ。我々の採るべき戰略はまさに逸を以て勞を待ち、堅を攻めず主力戰をなさず、すべからく神出鬼沒、東に聲して西を擊つてふ遊擊戰をなし、以て敵の兵力をして奔命に疲れしめ、敵の强烈なる攻擊をしてその效力を失はしめ、敵の人力物力をして大量的に消耗せしめ、然る後間隙に乘じて攻め、勞せずして最後の勝利を得んとするものである」斯くの如きが代表的な論述であつた。果して支那は長期戰が出來るか、これは檢討を要する問題であらう

二

支那經濟の現狀を見ると、それは一種の畸型的な狀態にあると言ふことが出來る。其處には重工業が缺如して居り外國勢力の支配と封建的殘存物の支配のために農業と工業は不均衡にされてゐる。これは近代國防經濟の整備のためには全く否定的な條件である殊に工業の外國への依存性と沿岸地域就中支那の行政權の及ばぬ租界に工業が集中してゐる事は、戰時に於ける工業動員を不可能ならしめ、現に實證されてゐるやうに工業中心地帶の戰禍による被害、海岸封鎖による打擊を甚大ならしめるのである。だから支那が全面的長期抗日といふものは、國防經濟體制の整備、國力の充實による自信ある長期戰ではなく、かゝる近代的國防經濟體制の採用不可能、對戰準備の不完全によりやむを得ずして採られる長期戰なのである。「逸を以て勞を待ち堅を攻めず主力戰をなさず神出鬼沒の遊擊戰」を說く所以である。このやうな意味での長期戰である限り、支那の經濟はそれに堪へ得るであらうことは注意すべきであらう。何處に中心があるといふのでもなく、どの部分を切り離しても致命的打擊にならず生きて行くといふ下等動物的な狀態が支那の特徵なのである。

三

上海方面に於いては現に大規模の消耗戰、近代戰が行はれてゐる。しかし支那の經濟組織、その國防資源及び國防產業の現實よりして彼等の抵抗は限度あるものたらざるを得まい。上海戰に於ける敗退後に、支那の得意とする長期抵抗戰が實際に始まると見るべきである。それにしても武器の補給は得なければならぬこゝに陸路による對外連絡が重要な意味を持ち、先般成立したといふソ聯の支那援助條約が從つてまた重要な意味を持つわけである。

防共の大獅子吼
廿八日ベルリン五月廣場で
獨、伊巨頭黨是闡明

【ベルリン廿七日發國通】ヒトラー、ムソリーニ兩獨裁王は廿五日ミュンヘンの總統邸に於て約一時間にわたり第一次會談を行つたが、確聞するに右會談においては日支紛爭ならびにこれを契機とするソヴイエト對支行動積極化問題も重要話題をなしたといはれる、會談の內容は勿論不明であるが消息通の見解によれば、獨伊兩國は從來歐州文化の擁護を力說し極東に有色人種の一大帝國の出現を喜ばぬ建前であり、且つ兩國は對支貿易を重要視してゐるが、この際防共の大義に則り極東紛爭に對しては事態が日本側に有利に展開することを希望するに傾いてゐるといはれる、兩巨頭は大演習參觀後ベルリンに於て更に會談を續行するが、會談の結果については外交の舊套たるコムミュニケ發表の如き方法をとらず兩巨頭は廿八日オリンピック・スタデイアムの五月廣場で民衆を前に自ら演說し外交辭令拔きで

一、防共の急務　一、歐洲文化の擁護

の二大項目につき共通の國是ならびに黨是を全世界へ闡明するとともにスペイン問題にも觸れデモクラシーの批判を行ふ筈だといはれる【寫眞はヒトラー總統とムソリーニ首相】

河北人の河北へ
宣撫班の努力に甦つた保定城

【保定廿七日國通特派員發】「保定へ、保定へ」過去一ヶ月間平漢線正面の皇軍將兵が夢にも忘れ得なかつた合言葉はそれだつた、その

保定 も今は陷ち、前線部隊は勇躍南下、既に〇〇より新樂を陷れてなほも破竹の追擊戰を續行してゐる、一週間前夢に描いた敵城、そして今はわが方の堅壘となつた保定城の西門望樓上に記者はゐる、廿七日朝拂曉夜闇が薄紙をはぐやうに拭はれ城內外の朝景色が髣髴として浮び上つて來た、城外眼下の水濠には白鳥が靜かに蓮の葉を分けて游弋してゐる

眼を轉じて城內を望めば西門の眞下から一條の道が長く長く東門へ通つてゐる、河北の首都保定のメインストリートなのだが二キロ餘の鋪裝もされぬ惡路だ、その西側に三層樓、四層樓の甍が道を蔽ふやうに建ち並んでゐる、朝の大氣を腹一杯に吸込んだ鳥の群が一列、二列、三列、弧を描き圓を描いて舞つてゐる、道端では犬がじやれてゐる、日の丸の腕章をつけた

市民 がのどかな顔つきで道行く兵士に手を振つてゐる、保定陷落と同時に活躍を開始した宣撫班の勞苦が報いられて市民が續々とわが家へ歸つて來たのだ、見渡す限り城內の隨所から朝餉の煙が緩やかに立ちのぼつてゐる、城門を固める兵士に聞くと一昨日は殆ど見えず、昨日は一つ二つしか見えなかつたが、今朝はもうこんなになつたのださうだ、ぴつたり木戸を降してゐた店もぼつぼつ開きはじめ、昨日の午後からは理髮店が一齊に開業戰塵にまみれた皇軍兵士の頭を刈るのに大童だ、保定府の復興は軌道に乘り始めたのだ今なほ大戶を降してゐる店の門口には〇〇部隊長の名で立入り禁止の貼紙が貼られてゐる、良民にそのまゝで返してやるためだ、ところ狹く貼紙してあつた抗日ビラは

何時 の間にか「河北人の河北」といふビラに代へられ、日章旗が戶每に立てられてゐる、保定城壁の中に青葉に包まれた保定はかつての支那の軍閥の魔手から開放され河北人の河北のその平和の首都となる日も近いであらう、さうした感慨に耽りながら記者は望樓を降りたのだつた

阮滿洲國大使
御陪食の榮を賜ふ

【東京國通】天皇陛下には廿八日午後零時半滿洲國大使阮振鐸氏を宮中豊明殿に召され午餐の御催あらせられ、梨本宮殿下御臨席、松平宮相、廣田外相、百武侍從長、宇佐美武官長以下側近者等にも御陪食仰付けられた、終つて牡丹間にて茶菓を賜りつゝ種々御歡談日滿親善にしばし時を過させられ二時過ぎ入御、大使は光榮に感激して宮中を退下した

海上遮斷線を往く
軍艦〇〇にて……猪伏特派員發…(上)

□

帝國海軍は暴戾支那の對日戰意を喪失させて一日も早く東洋の平和を確保せんと、全支沿海延長實に一千五百浬にわたる廣大な海域に注目すべき「事變時遮斷」を決行し既に宣言以來一ヶ月經つた、その實施狀況は如何? その實際的效果はどうか、デリケートな國際狀勢を映して困難を極める第三國船の取扱ひはどうしてゐるか、さらにまたわが忠勇無比の「海のつはもの」どもが現に嘗めつゝある辛勞や如何に? 記者は、去る〇日上海黃浦江上の第〇艦隊旗艦〇〇に長谷川司令長官を訪ひわが「遮斷作戰」の實況見學の希望を述べ遮斷任務を帶びて北上南下縱橫の活躍をしてゐる、〇〇艦に便乘方を懇請した、幸ひ長官の快諾を得、特に許されて〇〇日軍艦〇〇に便乘を許された

軍艦〇〇は〇〇根據地で萬端の用意を整へ愈よ出動、この日前夜來の雨はやみ、波また穩かに絕好の出航日和である、艦は支那大陸を右舷側に睨みつゝ颯爽航進する、檣頭高く飜へる旭日戰鬪旗は潮風にはためき一艦一體、士氣頗る旺盛である

「針路南」

この日洋上支那船舶の片影を認めず、漸く暮色迫るに及んで一つの獲物もない、蒸し暑い士官室で脾肉の嘆だ、夜、燈火管制、舷窓は全く閉された、餘りの蒸暑さに上甲板に逃避して「暑いですなア、こりや堪らぬ」とこぼせば、皮肉なのか「機關室に降りて三十分もぢつとしてゐたらどうです百三十度はありますよ」といふ「それには及びません」と艦首寄りの甲板へさらに逃げる、十日月中天にあつて月光燦々、海上に銀蛇躍り、潮風しきりに面をうつて爽やか!!と眼底に書く艦底汽罐室の猛烈な高熱と戰つて艦を推進してゐる全身汗びつしよりの機關兵の姿! 暑いなどゝいへる自分はまだ〳〵贅澤だ

〇〇艦長は艦橋に立つて前方海面を嚴肅な態度で睨んでゐるのだらう、艦長室に姿がない再び士官室に舞ひ戾つて非番の水雷長に話しかける

「いゝ月夜ですな」

「今夜は有難い程樂な航海さ本艦としては最近珍しいョ」

「時化るのは御免だ、僕元來船に弱くうねりを見てさへ醉ふのだから我ながら始末が惡い」

「この海特有のノー・イースト・モンスーンがもうぢき吹き出すが此奴にかゝつては大抵船に强いと自慢する人も參る、一度それを味はつて貰ひたいね、そうでないと我々の苦勞は判らない」

艦は〇月〇日前後十餘時間風速卅六米の大時化をくらつてひどい目に遭はされてゐる、その時艦長、航海長以下は艦橋に殺到する激浪と風雨にいやといふ程叩かれたのである、艦長以下勿論雨具は被つてゐたのだが褌までズブ濡れ、生命を賭けてこの自然の暴威と戰ひそして得たものは防水扉、防水蓋が彎曲し艦內浸水、ラムネ製造機械が使用出來ぬことゝなつたことでありちり紙四十圓が駄目になつたことである

遮斷任務を遂行する帝國海軍の艨艟が一番惱まされるのは

(1)これから吹き募るノーイースト・モンスーンと大きなうねり

(2)惡疫(コレラが上海に夥しく發生してゐる、これが艦內侵入を防ぐため、消毒につぐ消毒だ、ついで懸賞附蠅取競爭だ)

(3)新鮮な牛魚肉と野菜類の不足(長期洋上に作戰するため如何にしても不足を告げる)

(4)敵船影すでになく無聊に苦しむ(而も見張はあくまで嚴肅になされねばならぬし、なか〳〵發射目標のみつからぬ砲を磨いて一瞬即應し得る準備と緊張が四六時中要求される)

聖將東郷元帥が、かつてかう述懷してゐる

日露戰爭中自分が最も苦心したのは旅順の封鎖戰であつた、波、風、雨と何時來るか判らぬ敵に備へて晝夜を分たず終始緊張してゐなければならぬ、封鎖作戰は苦心の大にして見榮えせぬもの、しかも海軍の重大なる作戰の一つである、自分は皇軍の興廢この一戰に賭けた日本海々戰より旅順の封鎖戰に心勞した

と、勿論日露戰役當時の「戰時封鎖」と今次の「事變時遮斷」とは大分その趣を異にするのは當然であるが、或は「戰時封鎖」ならどし〳〵やれることが「事變時遮斷」なるため遣り切ることが出來ず、隔靴搔痒、遮斷作戰に從事する今回の方がより困難にして忍耐多く人間の忍耐以上のものが要求されてゐるわけなのだから、その精神的、肉體の疲勞は倍加するものと思はれる

それにも拘らずわが「海のつはもの」は大したはりきり方だ

各艦は苦しみの上に苦しみを積み重ねて皇國のため大いなる喜びのもと、上下協力融和して、一意專心、地味で苦勞の多い遮斷任務に邁進してゐる、非番の兵が蒸し釜のやうな艦內ハンモックに熟睡してゐる、その顔、腕、胸に玉の汗がびつしより、僅かに殘された一燈の薄あかりに汗の玉がギラギラと全身に光つてゐる時起きて部署についてゐる者の緊張の程が偲ばれて尊い姿だ、記者は暑さのため一睡も出來なかつたのに……

明けて洋上一つの島影なく徒らに鯢の群が艦を追ふて走る

正午過ぎ、水平線上遙か一條の黑煙を見た、艦は直ちに轉針して反航の姿勢をとる、望遠鏡面に全船體がだん〳〵大きく浮び上つて來る、第三國船らしい

然し支那は最近わが遮斷線を突破するため第三國旗を掲げて僞裝するのだから決して油斷はならぬ、艦は近付きつゝ國際信號「J・F(國旗を示せ)」の旗二旒を掲ぐ、應答あり、オランダ汽船とのことついで次々に

J・P・D(船名如何)

R・V(何に處行くや)

R・W(何處より來りしや)

等の信號旗を掲げ答へを得て〇〇艦長は不審なる點なしと斷定するや直ちに下令、「W・A・V」の旗三旒を掲げしめた、これは「貴船の愉快なる航海を祈る」との儀禮であるこれに對しオランダ汽船はわが艦に對し「感謝す」と答禮した、午後三時頃再び第三國船に遭ふ、一應の訊問あつて前同樣平和なる儀禮を交換して更に南下する、かくして眞の第三國船舶はわが遮斷線內を安全にして且つ自由な航海をつゞけてゐるのである

〇〇はもう間近だ、いま南下してゐる南支那海は昔に聞えた支那海賊の本場だ、その沿岸福州から廈門へ、汕頭、廣東へと南に行くに從つて人氣は荒くなるし、抗日戰意も熾烈となる

福州は親日家(勿論眉唾ものだらうが)と言はれる陳儀が州政府主席、背後に武力なく現在では入込んだ余漢謀麾下の廣東軍に引きづられてゐるが、この土地の人氣は比較的穩かで對岸のわが臺灣と密接な關係から抗日風潮もそう激越なものでない、今次事變で引揚げた居留民五、五〇〇人(內地人五〇〇、本島人五、〇〇〇)お隣りの廈門もまた廣東軍の侵入によつて現在盛んに沿岸防備がなされてゐる引揚げ居留民二一、五〇〇人(內地人一、五〇〇、本島人二〇、〇〇〇)

國民精神總動員
中央聯盟を設立す
會長には有馬大將就任か

【東京國通】政府はかねて國民精神總動員の中樞機關として國民精神總動員中央聯盟を設立、右運動の有力なる機關たらしむることゝしてその發起人たるべき人物銓衡中のところ、漸く決定を見たので廿七日民間側より酒井忠正伯、岡部長景子、井田磐楠男、藤原銀次郎氏其他十四名、政府側より馬場內相、安井文相其他關係官等が首相官邸に參集規約加盟團體等につき協議、大體決定をみたので卅日首相官邸に發起人加盟團體代表者の正式會合を催したる後、會長以下役員を決定することゝなつた、同聯盟の結成式は十月五日行ふ豫定であるが、會長には有馬良橘大將の就任が有力視されてゐる

美味な榮養食
勞苦の將士に屆く
肉船近く上海入港

【旗艦〇〇廿七日發國通】海に、陸に、皇軍の勇士達が實戰してゐるときに、これはまたその後方にあつて人の眼にはつかない苦勞をしてゐる將兵達がある

事變がはじまつてから第〇艦隊では普通の麥飯を白米に改め、菜を出來るだけ美味しくして榮養のあるものをと考へて來たが、何といつても戰地のことで思ふやうには行かない、それでも第一線の勇士には時々腹の虫のうなるやうなものを食はせないといけないといふので、艦隊主計長が色々考慮した結果愈よ一兩日中に肉船を黃浦江、揚子江上の各艦艇に廻すことゝなつた、この肉船は船自體が大きな冷藏庫になつてゐて內地から肉や魚類をどつさり積み込んで入港し、そのまゝ艦內に氷詰にして割當均量の肉や魚類を配給する、肉も大いに精力をつけるが日本人は新鮮な魚類も缺くべからざるもので、かうした細い點にまで心を拂ふ主計の仕事は並大抵ではない

肉船入港この日こそ無敵海軍の張切る日だ

同文書院引揚
近く卒業生九十四名
上海戰線に出征す

【長崎國通】上海が兵火の巷となつてから同地にあつた同文書院は臨時的措置として一時長崎市に引揚げ目下開校準備を急いでゐるが、來年度卒業生九十四名は內地で荏苒日を送るより上海戰線に通譯として從軍皇軍の一員として活躍したいと志願を申出でたので、學校當局は感激、軍との間に出征地點の交涉中で近く戰線に向ふことゝなつた

宮澤國通特派員に
稻村班長感激電

第一線に從軍中愛妻を失ひました愛妻のいまわの際の「戰地を離れずに御國のために」の言葉に勵まされて今なほ報道戰線の勇士として活動を續けてゐる宮澤國通派特員に對する同情は各方面から雨のやうに注がれてゐるが、關東軍新聞班長稻村中佐も大いに感激廿七日戰地の同特派員に宛次の如き弔電を發した

御令室の計報に接し哀悼の情に堪へず歸還の勸告を退け只管御活動の由感激の外なしこゝに謹んで弔意を表す　稻村新聞班長

國民使節とし
大倉男イタリーへ

【東京國通】支那事變に關する帝國政府の公正なる態度を列國に認識せしむべき國民使節については石井菊次郎子英國、松方幸次郎氏米國、高石眞五郎氏米國、伍堂卓雄氏ドイツと夫々人選決定してゐたが、更に大倉喜七郎男がイタリーに赴くことになつた

金現送打切か

【東京國通】最近貿易尻は出超に轉じ、その結果過去一ヶ月間は金現送を中止してゐるが、今日の爲替許可申請の狀況からみて突發的な需要が生じない限り大體年內における金現送は不要の見込みとなつたので一應打切りの意向の樣である

商況欄　廿八日後場

株式相場

●大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	一三一、一〇	一三一、一〇
豆新	一九、〇〇	一九、〇〇
東新	一四三、八〇	一四四、一〇
日產	六九、一〇	六九、一〇
滿鐵	四四、五〇	四五、五〇
同新	四三、四〇	四三、四〇
鐘新	二三五、〇〇	二三六、〇〇
土木	一三、六〇	一三、七〇
日新	三二、五〇	三二、五〇

●奉天株式(短期)

銘柄	寄付	大引
滿取	―	―
東新	一四四、五〇	一四四、五〇
大新	八一、五〇	―
日產	六九、五〇	六九、一九
鐘新	三三、七〇	―
五品	―	―
豆新	―	―
滿鐵	四四、八〇	―
同新	―	―
電甲	―	―
滿毛	―	―
日畜	―	―
電業	―	―
化學	―	―

新京取引市況

現物(廿八日後場)

品目	寄	引	出來高
高粱	―	―	―
米高粱	―	―	―
小豆	―	―	―
玉蜀黍	―	―	―

●先物

限月	寄	引	出來高
大豆　九月限	六、一九	六、三〇	一五車
十月限	六、二一	六、八〇	一〇車
十一月限	―	―	―
高粱　九月限	三、三八	―	―
十月限	―	―	―
十一月限	―	―	―

手形交換高(二十八日)

一六三枚　三三七、四八九、〇〇

九月三十日ヨリ
十月五日マデ

営業時間
自午前九時半
至午後七時

開店披露大売出し

滿都皆様の御高庇に依り玆に開店の運びとなりました事を厚く御禮申上げます　大方皆様へ御披露と御禮奉仕を盛大に開催致します　何卒御左右御誘ひ合せ御光來の程を……

飛躍滿洲 日滿親善 大展覧会

主催　帝國在鄕軍人會新京聯合分會
後援　關東軍新聞班　協讃　滿日新京支社
　　　駐滿海軍部　　　　　大新京日報社
　　　協和會首都本部　　　新京日々新聞社

滿洲國建國以來玆に五ケ年、旣にこの隆盛を見ましたのは偏に畏くも　明治天皇、大正天皇、今上陛下の御稜威になる確固たる日滿提携に依つて生れましたのは言ふ迄もありません時恰も支那事變の重大性に鑑み先聖の御遺勳を偲び奉つて日滿兩軍の武勇をねぎらふと共に今後の飛躍を鼓舞する目的を以て今回帝國在鄕軍人會新京聯合分會の御主催を以て開催されたものであります
會場には再び拜觀得難き御物を拜陳奉つて居ります
何卒皆様御左右御誘ひ合せ御拜覧の程を偏に願ひ上げます

主ナル御貸下品

一、明治天皇大元帥御正裝、御愛刀、御ズボン釣、大正天皇御軍衣、袴を始め奉り元帥刀、元帥徽章、金鵄勳章等畏れ多き品々
一、山縣公爵家、大山公爵家、野津侯爵家等日滿高家より御貸與の貴重なる品々
一、日滿親善を意味するヂオラマセツト數場面

會場　六、七階催場

染織呉服綜合展

一流染織業者が傳統の秘技に更に新時代の意匠的生命を加へ流行の創作を加へた多趣多様な新感覺の逸品陳列……………落付いた中に明朗さを湛へて高度な趣味性と視覺に訴へる美しい感情を豊かに盛つて居ります

三階

婦人子供 洋装流行会

懸命の努力と研讃により創らしく生れました服飾雑貨の力作揃ひ……

婦人洋服の今年度の流行は英帝戴冠式の影響を受けまして古典趣味豊かなものです。基調色としてはコロネーション、ブルー、スカアレツト、ピンク等で部的分にも東洋趣味豊かなものが喜ばれます

二階

新京 宝山

電話代表(2)五〇一一番

秋口に一番多い子供の消化不良
治療法を誤ると取返しつかぬ

秋口は何といつても、夏以來持越しの急性下痢や消化不良がお子さん達に多いやうですこれは食べ過ぎ、寢冷え、不消化物の攝取等から來るもので特に五、六歳前後のお子さん方に多いのです。治療法を誤ると慢性下痢になつたり、ひどいのになると大腸カタルや赤痢になります。

おかゆは禁物
下痢が不思議に止る パン食と野菜スープ

普通下痢患者の食事にはおかゆを食べさせるのが常識ですが、これは利き目がありません。おかゆ、牛乳などの輕い食事を與へても病人は益々衰くなるばかりで半年たつても恢復しない實例もある位です腸は素直におかゆを受けつけないのです。ではどんな食物がよいかと申しますと、パン食に野菜スープが一番よろしい。間食には輕いビスケットなどを用ひるやうにし、これをしばらく續けるとよほど長い下痢でも不思議に止ります有形便が出るやうになつたらパン食だけではあきますから小魚や裏ごしにかけた馬鈴薯、うどんを少量宛與へてゆくことです。あめ、ドロップスなど糖分を含んだものは絶對にいけません昔からあめは病人に付物だといふやうな考へが一般に行きわたつて居りますが、この種の病人には糖分は腸内ではつから作用を起し惡結果を及ぼします。

癒り際の便秘 浣腸せぬこと

なほり際には便がだんだん固くなりいはゆる有形便が出て來るのですが、この際二、三日便秘するやうなことがあつても浣腸はせぬことです。完全に治るのは便秘状態が二、三日續いた後で、折角治つても浣腸すると以前の状態に戻ることがあります。

新しく買ふ迄もない 毛糸を若返らせ
色も手觸りも新品同樣になる

非常時下の家庭

古い毛糸の若返りをすると新品同樣、經濟的です。だからなるべくなら新しく買はないでこれまで編みつぱなしでその儘になつてゐた子供ものなど、ほどいてお洗濯して型も新しく編直ませう。もし色のはげてゐるものは染め替へれば感じもすつかり新たになります。

洗ひ方

まづほどいたら適當のカセにつくつて木綿糸で一、二所ゆるく結へ微温湯に二、三十分つけて汚れをゆるませ、輕くつかんで下洗ひをします。次に新しく微温湯を加へ、之にアンモニア（水一升について盃半分位の割合）と良質のマルセル石鹸を泡立つ位に溶かした中で同じくつかみ洗ひ、最初のすゝぎ水（すべて微温湯をお用ひ下さい）にアンモニア少々最後の水には醋酸（食酢でもよし）少々入れ、十分間程して引上げ、自然に水をお切り下さい。これで汚れは落ちたはずですが、同時に脂肪氣が拔けて光澤もしなやかさも失せ、ばさばさしたものになりますからこれを補ふため、水一斤にロート油（藥品店又は工業藥品店にあります）盃一杯の割で加へた中に浸し、引上げて布に包んで水氣をよくとり、蔭ぼしして蒸氣の盛に立つ上にかざすか、或は御飯蒸しに入れて蒸すかすると、今まで痩せてゐた糸がふつくりと新しいもののやうになります。

染色の準備
色ぬき法

次に色のあせてしまつたもの、或は好みの色が欲しいなら、この外に染色をしなくてはなりませんが、そのためにはまづ衣に中上げる下ごしらへをていねいになさらないと、決して手際のよい染上げは望めません。まづ最初申上げたやり方でよく石鹸洗ひをし、よくすゝいだら、熱湯一升にアンモニア水盃半分加へてこの中にカセにした毛糸を廿分程浸けて色を浸み出させてすゝぎます。が、これで不充分のやうなら、熱湯一升にハイドロサルハオト（灰白色のザラザラした粉末）六七グラム溶かし、醋酸かお酢少々加へた中に毛糸のカセを何か棒にでも通して吊るすやうに入れ、平均に靜かに繰りながら次第に加熱、ぐらぐら煮立たない程度の熱湯（八〇—九〇度）の中で色拔きしますムラなく拔けたら引上げて温湯でおすゝぎ下さい。

染付け

いよいよ染付けにかゝります。染器（洗面器か琺瑯引きの御飯蒸しなどがよし）に糸がたつぷり浸る位の温湯を入れ、あらかじめコップに溶した染料を注ぎ加へ、お酢少々入れ、火にかけ、カセを棒に通したまゝなるべくひろげて入れ、一、二分ごとにカセを廻して位置をかへながら染めます。もし色が薄かつたり、望み通りの色でなかつたりした時は、一旦カセを引上げておいて染料を加へます。充分染付いたら、引出してしばらく風に當てゝ冷ましてすゝぎます。清水で色の出なくなるまですゝぎます。仕上げには前と同じくロート油を用ひ、蒸氣を當てゝ下さい。

藏つてあつた革手袋に シミ カビは？

藏つてあつた革手袋には、よくシミやカビが出てゐる。でまづ裏返しにして蔭ぼしにするのだが、乾すには針金を手の形に曲げてそれにはめて家の中に吊るしておく、二、三日後に取外して外側の光澤のある革の場合なら、揮發油でふいて又先のやうに裏返して乾しかうして一週間位たつとカビやシミが消えてしまひます。

料理獻立
お惣菜辨當

けふはお辨當のお菜向きのこの二品を申上げませう。

▲野菜入りの炒り玉子【材料】（五人前）玉子 四ヶ　キャベツ 七十匁　松茸（代用には椎茸五匁）三十匁　鹽、砂糖、みりん、醤油、調味料

キャベツのせん切りを茹で松茸にふり味しておき玉子に味を加へた中へ入れて炒り型につめます。

▲蓮根の甘酢煮【材料】（五人前）蓮根 一節　酢、砂糖、みりん、食紅少々

蓮根の一分切を茹でゝからふくめ煮とします。

けふの番組
【M・T・C・Y 新京放送局】廿九日（水曜日）

朝
六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
七、一五朝の音樂（大連）
七、四五建國體操
八、〇〇氣象通報
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座（大連）婦人と法律（二）田村 詢一
一〇、二〇料理獻立
一〇、三〇家庭メモ
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）

晝
〇、〇五晝の演藝（レコード）
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京・新京）

夜
四、三〇經濟市況（大連・新京）
四、三五天氣概況（鮮語）
五、二〇ニュース 時事解説（鮮語）
六、〇〇子供の時間（東京）金載 ▲二十六日の社會見學をこの時間に延期
六、二〇コドモの新聞（大連）
六、二五商業常識講座 新京商業學校教頭 原島 省吾
七、〇〇ニュース・告知事項・番組豫告（新京）ニュース（東京）
七、三〇講演皇軍慰問を終へて 衆議院議員皇軍慰問團代表 上田 孝吉
八、〇〇物語 慰問袋 西村 樂天（東京）
八、三〇清元 月花茲友鳥（山姥）清元巴榮太夫 同 淨瑠璃 清元初榮太夫 三味線 清元 政壽郎 上調子 清元 松之輔
八、五五連續ラヂオドラマ第三夜（大阪）赤穗浪士 大佛 次郎作 永田衡吉脚色 前進座
九、三〇時報・ニュース（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、一〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇滿語ニュース・講演・音樂
アナウンサー上森（朝）佐藤（晝）宮岡（夜）

物語 慰問袋 西村樂天
（後八・〇〇 東京より）

ヱ…八月二十一日午前七時二十分、「舌」一枚の輕い慰問袋を乘せ、ビューンと快音朝霧衝いて羽田空港を出發、大阪、福岡と銀翼休める暇もなく朝鮮海峽を翔破し京城經由で大連着、之で天津迄飛べれば事はないが、北支一帶は二十六年來の豪雨續きで詮方なく、ボッボボッボと汽車で走つたから運いこと、山海關へは翌二十二日夜の九時、折しも滿月中天に輝き萬里の長城がクッキリと浮んで一段の趣をそへてゐるが、時は事變最中で身の引緊まるのを感じる。二十三日朝の七時四十分天津着—支那駐屯軍司令部にリユックサックをドッカと下し、從軍許可證と腕章を貰へば、その腕章の肩書はナンと「從軍漫談家第一號」扨て天津暴擧の根源地南開大學では兵隊さんが二十數個の臼で洗濯してゐるが、その臼たるや金魚養殖臼とあつて非常に便利な廢物利用、部隊長以下は素肌に軍服といふ扮裝の奮闘ヱ…居庸關に着いたのは二十六日午後七時、まだ附近には敗殘兵が居るのでウソ寒い日章旗燦然と長城に輝く八達嶺に達し、有難涙に暮れて、北柳樹林野戰病院をお見舞する。（寫眞は西村樂天さん）

清元 月花茲友鳥
清元巴榮太夫外

前ビキ「よし足曳の山廻り四季の眺と面白や梅が笑へば柳がまねく風のまにまに草蕨の手を引添ふて彌生山（合）つくらふ花の仇櫻　合カン「桃は氣まゝに山吹も見はてぬ内に（合）春過ぎて早卯の花と花がつみ　合「そして（合）あやめ菖蒲や杜若ほつそりと時鳥アレ夕立にぬれ忍凉風がへ（合）雁が屆けし玉章は（合）小萩の袂苅萱に返事紫苑も朝顔の　合「遲れ咲なる恨み詫び（合）露にも濡れてしつぼりと（合）伏猪の床の菊襲（合）よいよいよいよいやさ「よいや冴え行く初時雨松も枝つく老の坂　二上り「おらも嫁入てナア（合）來た時やほんにサア（合）爺樣上下わしや丸綿で顏にも恥かしかつた盃今は朝茶に念佛拜んで（合）御ありかた衣角かくし（合）女夫で參るお朝路や爭は子故に室咲の花を尋ねて山廻り（詞）快童ここへおじや　合「夫の形見と見るにつけそなたの大事さ大切さ今日別るれば今宵より母一人寢の閨の中（合）さぞ面影の懷かしからう（合）賴光公へ御奉公勤めるひまの明暮に　詞「武術を勵み奉公せよ必ず人樣に　合「山姥が子と笑はれな　詞「今別るゝとも此母がそなたの影身に附添て猶行末を守るべし（合）とは云ふものゝこれがまあ名殘り惜しやいとしやと（合）抱き上げ抱き上げき付き思わずわつと一聲は、（詞）名殘りは盡きず早さらばこずゑにひゞき哀れなり、（合「いとま申して歸る山の　合「峰の梢も白妙や（合）源氏の武名盡せなき實さへ花さへ立花の賑ふ櫓ぞ久しけれ榮ふる櫓ぞ目出度けれ（寫眞は清元巴榮太夫）

赤穗浪士
前進座の連續 ラヂオドラマ
後八・五五（東京）

京の遊里に今全盛の夕霧太夫の許に通ふ大石内藏之助の放蕩の姿を監視してゐた吉良方の二名の間者は、巧みな大石の醉態に計られ、復讐の志なしと報告する。一方大石は他の座敷に行くと見せかけ早駕籠に乘じて江戸表へ出發した。江戸表に於ては吉良上野介を護る上杉家の家老千坂兵部が、赤穗浪士の擧動を心配してゐるが、吉良はその千坂の奥歯にもの挾まつたやうな深慮にはひどく不滿であつた。堀田隼人の密書により赤穗浪士の復讐疑ひなしとの小林の報告に吉良は「この元祿の泰平の時勢に仇討ちなぞ……」と深くいらだつ。赤穗浪士の一黨は某所に會し、頭領大石は一同の長い月日の辛苦の勞をねぎらひ、深夜の雪を衝いて吉良邸へ闖入した。激戰數刻の末遂に吉良を一同の面前に引き据えることが出來た。大石は「自分は決して吉良殿の白髮首を欲しさにかゝる夜討ちをしたのではない。此の元祿泰平に眠る文弱の武士の眼を覺ますために決行したのであり主君淺野公の先年殿中の双傷も單なる私憤からでなく以上の意味から行はれたのである云々」と述べて浪士一同は、雪の曉に凱歌を奏した。

國防獻金
關東軍受付

△二十圓—同正一道致々所一同△百圓—瀋陽姜全我△千圓—同滿洲麥酒公司△四圓十錢—濛江普通學校職員生徒一同△九圓三十錢—濛江縣城居住鮮民一同△七十圓—同商務會△三十圓五十三錢—同縣公署職員一同△五百圓—吉田友一△四十五圓—奉天大同土地會社△廿五圓—同電報學校△二圓二十一錢—同盛京時報社員一同△四十圓—同盛京時報社△三十七圓七十五錢—同佛教婦人會△百圓—同步兵第五國長以下將兵一同△七十八圓四十錢—東豐縣街公署△百五十五圓—奉天協和會永安區分會△百卅五圓七十錢—同商務會△二十二圓—三江會館、經濟分會、縣本部

職員一同△百五十四圓—同世界紅卍字會盖平分會一同△三百圓—鐵嶺農科農務楔長並楔員一同△七十圓—南滿中學堂職員生徒一同△五十圓卅錢—奉天省立奉天兩級中學生徒一同△四十五圓—奉天第三初級中學校生徒一同△一圓十四錢—同片岡正男△十圓十七錢—同橋口昭子△二圓三十錢—同越後和義△四圓—同石田藤男外二名△十三圓三十八錢—同田中嚴外一名△七圓六十錢—同谷澤ふさ△二圓七十二錢—同林田康義△七圓十一錢—同濱田誠次外二名△四圓九十七錢—同山口弘子外三名△一圓九十二錢—同西森延子△二十七圓五十錢—奉天省立奉天第三級中學校生徒一同△四十五圓五十錢—奉天滿洲日日新聞社奉天支社△三十一圓六十錢—奉天省立奉天第二女子初級中學校生徒一同△六十二圓七十錢—撫順永安居住李鍾廉

外一七九名△三十圓—同東九條通五八梁川淸四△二十圓—同西四條通二八酒井マサノ△十五圓—同工業學校機械科有志△十五圓—同東四條通二七森口直次郎△十圓—同永安大街一大昌洋行代表者金德喜△五圓—同大山坑一丁目一號荒賀ノブ子△二圓—同西五條通吉本利子△百圓—同西五條通紀井紋治△百四十圓八十錢—同アカシヤ童踊樂園責任者鍋井潮浩△十圓—同匿名△六圓六十六錢—同南臺街東三番地林博敏▲一圓十七錢—同東三條通四二尋常一年生三村キクエ△十圓—營口花園街新條△六圓三十六錢—大石橋小學校尋常科六年女生徒二名△九十三圓五十錢—南滿鑛業株式會社大石橋工場日滿從業員一同△九十二圓五十六錢—撫順高等女學校職員生徒一同代表李寶太吉△二十圓—同西十條通四六良本嶺吉△二圓六十五錢—

同古城子工作係事務所林繁馬外一同△一圓—同北臺町二の四佐々木亭△六十錢—同東鄉三丁目二の五、東七條小學校高等科一年間地光電△四百三十九圓三十七錢—本溪湖藝妓一同△百四十八圓五錢—同大日本國防婦人會橋頭支部△百三十三圓—同大日本國防婦人會連山關支部△百圓—安奉線廟兒溝大倉土木從業員△九十圓—本溪縣協和會附屬地分會々員一同△五十圓—本溪湖梶尾敏子△五十圓—同榊谷組一同△三十八圓九十錢—安奉線下馬塘官民一同△十六圓—同下馬旭町野口惠亭△十圓—同下馬塘愛護村一同△四圓三十六錢—奉天鐵道總局旅客課食堂係員一同

△恤兵品廿二日受付 △馬糧用干草七五〇キログラム—新京滿洲帝國交通部△銀紙一〇〇グラム—哈爾濱桃山小學校田村裕外一名

獻金、慰問品
駐滿海軍部扱

△十七圓五十錢—鞍山製鐵工場地區滿洲鐵鋼所北川杉子外一名△廿五圓—鞍山中學校同窓會代表牧島金三郎△一圓—新京數島寮栗山健次郎△二百圓—新京永樂町大原萬千百△百七十九圓八十八錢—新京官吏消費組合△廿五圓—哈爾濱大倉洋紙社員一同△五圓—哈爾濱杉山轉二△四圓七十六錢—哈爾濱高津博子外一名△四十三圓卅八錢—協和會大德公司分會代表杉浦三良△五十圓—新京大原千枝子外三名△五十圓—高等農林學校職員學生海拉爾興安學院職員、文化研究院職員代表本山正義△百圓—新京電氣工事組合 △慰問品の部 △慰問袋十袋—新京祝町婦原忠夫

學藝

故三井良太郎氏絕筆「裸婦」

映畫隨想

批評と觀賞

岸田日出刀

映畫の批評家なる專門家は私は好まない。時折新聞や雜誌の上でさうした映畫批評家なるもの丶批評を讀むが、映畫の判るのは自分だけで、どんな名監督よりも傑れたこの道の腕前を持つてゐるかの如き思ひ上つた記事を讀むと徒らに腹立たしいばかりである。藝術批評家、社會批評家なるもの丶所論の中にもかうした場合を見出して不愉快なことがよくある、專門映畫批評家に惡評な映畫が逆に馬鹿に面白かつたり、彼等に好評のものが期待に反して少しも面白くなかつたりすることをよく經驗する批評家がまちがつてゐるのか私がまちがつてゐるのか、そのどつちかにまちがひはないが、私がまちがつてゐるとはまちがつても考へないし、考へたくない。自分が面白く觀た映畫はどこまでも面白かつたんだし、自分に面白くなかつた映畫は批評家が何と言はうが面白くなかつたのだから仕方があるまい。

□

專門批評家の映畫評に左右されて映畫を觀るのなんか愚の骨頂である。偶々自分が觀た映畫の評を批評家の評と併せ比較したりするのは時にとつての一興でもあらうが自分が觀る前に批評家の評判がよいから觀てやらうなんどといふのは、映畫を觀るのは自分だといふことを忘れ情ないことだ。自分が面白く觀た映畫の評が前に新聞で惡く書いてあつたりしたのを想ひだすのはいやなことだ。つまらなく觀た映畫の評が好評だつた場合も同じやうに腹が立つ。映畫評はなくもがなの感が深い。

□

こんなことを云ふと映畫は自分のものだとばかり大きな顏をする映畫批評家がいきり立つのは眼に見るやうだが、單なるせまい小さな自分を標準にしたり、少しばかり映畫技術を知つてゐるといふ思ひ上りを止めて、映畫を觀る者はあらゆる階級あらゆる年齡を網羅してゐるといふことをはつきり識つて、映畫のことは我がことだといふやうな上はづつた批評を止めて欲しい。

□

もと〳〵映畫の觀賞といふことは主觀的なものである。二十才前後の若い男や女が見て面白いものも四十才の私には少しも面白くない場合があらう。年齡は似たやうでも、男と女とでは觀賞の結果に差があらうし、同じ年齡の男女でも教養なり境遇の如何により好き嫌ひの差が生じやう。かやうに映畫の價値といふものは絕對的なものではない。各人の主觀を通して或者に面白い映畫も他の者には面白くない場合も多々あらう映畫といふものはそれで少しも差支へないものだ。映畫批評のむづかしさはこの映畫觀賞の主觀性といふことにあると思ふ。

演劇親話會（四）

檢閱者の非藝術的頭腦……

張燕卿　もう一つは折衷の問題で知識階級のためにやらなければなりません、その案として國都の劇場を作ります、日本の歌舞伎でも能でも北京の役者が來たらそれもやる、或は露西亞のダンスでもやる、普通はつまらない芝居屋には貸さないことにする、場所もよし中は綺麗だといふので毎日二、三時間行けるといふ樣なものを作ります、長春座や新京キネマ等は小さくて入れない、私の考へは不經濟ではあらうが（二、三十萬圓もかけては）娯樂がないからとて毎晩々々料理屋に行く金も大變なものと思ふので、先づ案を作らなくちやならないが、私は一市民としての考へを申します、建國以來六年にもなつてゐるまだ何も出來てないぢやありませんか

眞殿　私は大臣の話は二つに分れると思ひます、知識階級のためと大衆のために、先づ大衆のためには低いものが必要で十錢二十錢も拂へないものが多いので公會堂でやらうといふのは滿洲ではいゝ方なので、最高四十錢位で最低二十錢位、二圓三圓といふのは普通のところにはこないさうです、滿洲館からみますと日本人は一年十四回平均、滿人は一年二回平均四十錢（新京の調べ）となつてゐてそれだけの開きがあります大衆のものは低い方から上にあげてゆくことが根本で知識階級のためにはまた別にいゝものを置く必要がある、即ち兩方を作るべき折衷はいけません

張燕卿　新京には芝居は七ヶ所ぢやないですか

奧村　いや今は一ヶ所です

張燕卿　さうですか、活動寫眞は私の家ではすきで各新聞をひき出してどこがよいか勉强します、がもうあれは娯樂ばかりぢやありません、新知識を得る爲めの勉强です、併しそれは知識のある人々のことで文字もよめず話も分らない人には發聲でもどちらでも駄目です

それから日本側の興行では時間を考へてないから御飯時間にいゝのをやつたり又時間が不正確で一つみるのに何回もゆく事になりますいま映畫協會がやつてゐるが滿語のが必要です、如何に必要だからとて勉强しても日本語はさうすぐ間に合ふまでにはゆきませんからこれからは芝居よりも活動が必要です、青年は新らしいものを知るために見たい芝居は讀んでも難かしいしで社會教育上活動は大切です、絕對青年は活動が好きだから私の考へでは芝居だけではいけません、多少音樂的なもの、踊なども交ぜなくちや

又もう新京も四五十萬の都會になるのですから、いゝ活動寫眞館も一つ二つあつてもいゝですね、それは警察があまりやかましくて仲々許可しない、で折角の資金は他に廻はすといふことになります、この經營については純滿人だけではこれからのは規則がやかましくて理解出來ないし日本人だけでは滿人の氣持が分らないから兩方でやらなくてはいけない、二階に上つて靴をぬがされるのも困りますからな

それから娯樂と宣傳とを別にする事です、商賣したいならいゝフイルムを持つてこなくちやいけない、國策映畫研究會はどうなりましたか知らぬが、その頃のことだがフイルムを檢閱のとき無茶に切つてしまつて折角のフイルムも駄目にしてしまつてゐたが、も少し檢閱者も藝術的頭を持つてもらひたい、でそのことに就ては懇談をしたらよいと思ひます

長谷川　映畫協會の方の話はどうです龜谷さん

榮厚　先程張大臣から話のあつた新舊芝居についてはその通りですが、芝居の發祥地は北平ですが、そこではいゝ方法を以て經營して來ました、富裕階級も芝居を聞き一般民衆も共に樂しんで來たのです、處が光緒二十六年を境として急に變化して惡い習慣が起り、その結果値も高くなり一般の人は見られなくなりました、その一例として梅蘭芳の芝居は昔のに比すると十倍以上になつて一般からは遠くなりました、併し未だ古い方法が北平には殘つてゐます、それは貧富ともみられる方法で富連成といふ一班があります、學校と同じで子供のときから役者を養成して三年位で卒業して一座に入れるため入場料は安く一般の人も出入りしてゐるのです、これは滿洲吉林の牛子厚といふ人が組織した劇團の方法で北平の人はそれで恩惠をかうむつてゐます、これは學校があるからで學校が重要な役割をすることが分ります

それから、も一つ改良の問題ですが根本的には劇場や學校の設立、良き脚本の作成等でそれは技術を考へなくちやならぬのですぐの間には合ひません、それで緊急法としては眞殿さんの話のやうにいゝ安いものをやるとか赤川さんの話のやうにいゝ脚本に補助金を出して上演させるとか警察の問題とかゞあると思ひます

支那事變

稻垣輝安

支那を如何にすべきやの名題は明瞭のもとに戰爭はすすむ

南京政府の維持政策たりし抗日が自亡の因となる日せまりぬ

抗日意識すでに根强く民衆にありこの過失を南京政府は如何にせんとか

支那膺懲は國交斷絕も辭せず國民精神總動員なりて此所に日本

平津地方の安定の樣はニユース映畫に見て何か氣輕く感じゐるなり

北支經濟政策を早急に樹立せよとの世の聲を新聞にすでに見るべくなりぬ

學藝消息

△新京美術協會秋季展は十月二十三、二十四、二十五日の三日間記念公會堂に於て開催する、出品作は一人代表作一點、尚ほ今年から入場料十錢徵收する豫定

混血女滿州を行く

—長與善郞の小說—

バクゲキ者

一風變つた作家長與善郞は近頃滿洲にも來たりしてわれらには若干親しい名前になつてゐるが、今度「日本評論」（十月號）に書いてゐる「夕子の旅日記」は場面を滿洲に取つたもので一應注目すべき作品である。

作者は日本人と半島人との間に生れた金持ちの女を、登場させる、彼女は某大官と一緒に滿洲に渡りやがて監視者付きの旅に出る—それが女の日記として書かれてゐるのである。監視者が附くといふのは、曾つて彼女がそれとはつきり知らずに共產黨員に金を與へた事があつたからで、何か此處でも企んでゐるのではないかと見られてゐる。實際、彼女は何か意味のある金の使ひ場所を見付けたがつてゐる。そしてそれはやがて同行の韓といふ人物に對する愛戀となり、彼が人質となつたのを救ふために金を使ふこと丶なつて彼女の希望は果される。その彼女も戀を得た直後に病を得て死んでゆく。

作者は「瀚海國」「R市」「春京」などの名詞をこしらへてゐるが、これは意味無い事であらう。

問題とすべきは、結局、すべてがただ傍觀者の眼で描かれてゐるといふ點にあらう。それも生きてゐる人間を生きてゐる社會を見てゐるのではなくて、つくりあげた人間を、こしらへた社會を見てゐるだけだから始末が惡いのである。この小說を讀みながら、所詮こしらへたものではあつても、いかにアンデルセンの童話が、ワイルドの童話が生き生きとした現實感を持つてゐるかを僕は思はざるを得なかつた。だが物語の人物は、影繪人形ほどにも踊らない。作家技巧の點からはつきりと言へば、女主人公をただ單なるお金持のお孃さんにした所に、致命的な缺陷があつたとも言ひ切れやう。長與の甘さを、乃至はその甘さ加減をはつきり見せあれざるを得ぬやうな作品であつた（P・S・M）

保定城の攻略戰
嗚呼"汝は忠絶無双の武士"

【保定廿七日國通特派員發】記者は保定會戰に殊勳を樹て○○部隊長を城外の宿營に訪ひ、古びた支那家屋の奥まつた一室で保定攻擊戰を聞いた [illegible]

保定城見ゆ

[illegible]の狼狽した退却ぶりをみて一氣に保定まで急追敢行を決意し更に八キロ南の陣莊、王莊に進擊、これも廿二日頃遂に占領したが敵陣地は十重二十重に構築され一陣一陣突破して急追すると兩側の敵陣地からは猛烈な側射をうけて非常な難戰だつた、いよいよ目指す保定城が見へる、敵は一段と雨霰と射擊するが彈は餘り[illegible]

[illegible]角上に日章旗を立てたのが九時二十分だつた

これより先工兵隊とゝもに城壁に迫つた一ヶ中隊はそこから入れぬと見て城壁の出角を利用して攀じ登り、中側に飛び込み穴を開けて突入した

感涙の萬歳

[illegible]北門の西に迫つた左翼部隊の一箇中隊は穴を開けながら城壁によぢ上り、九時半北門を占據、中から北門を開けて城內掃蕩に移つた、そこから一部は城壁の下を通つて東門を陥れ、さらに南門に迫つたところ西門を陥れた部隊が城壁の上を掃蕩して恰度南門に來た、城壁上の敵はわが砲擊ですでに殆ど逃げてゐなかつたが、城內にはなほ多數の敵がゐて機關銃を射つて抵抗したが、これも難なく全部掃蕩し、こゝに保定は完全にわが手中に歸した、城壁によぢ登つた部隊は日章旗のもとで東方に向ひ皇居を遙拜して陛下の萬歳をさけんだがこの時は涙がこぼれて言葉が出なかつた

保定北門一番乘
安部大尉を陣中に訪ふ

[illegible]をかけた隊長は次の如く語つた

わが隊は城壁の東端から左に展開して二十四日午前六時半攻擊前進を開始し、敵陣まで約四十米、危險を冒して土を掘りつゝ前進、漸く敵前七、八十米附近にまで進んだ頃三方から猛然十字火を浴びせられて前進困難となり十數名の死傷者を出した、敵は五十米間隔に兩翼の機關銃を擬して將に兩翼の掩蓋機關銃からの側射は物凄かつたがわが砲擊にまづ斜左の防禦壁が一發で破壞され次々と破壞される隙にこれを見て突擊を敢行第一線陣地を奪取、城壁目がけて突進する忽ち深さ五米、幅四米の外濠にぶつかつたが天祐と云はうかアカシヤの木が數本あつたところに隱蔽の通路を發見秋山准尉の部隊が先頭に立ち突進すると城壁の前でさらに河にぶつかつたので北門目がけて左に突貫すれば意外にも城壁には數發の彈痕の外突擊路がない已むなく石田軍曹に後藤上等兵、芦刈一等兵をつけて何とかして城壁に上れと命じた、石田軍曹以下三名ぎ銃、背嚢等裝具一切を脫ぎ綱梯子と鍬をもつ[illegible]

て決死の覺悟で城壁に近づき七、八十度の傾斜の城壁に飛びついて苦心慘憺遂に九時十分城壁上に日の丸の旗をたて續いて十時半內部から北門を開いたので同部隊を先頭に各部隊一齊に城內に突入部隊主力は保定城北側を占領一部隊をもつて北門外部落を他の部隊をもつて城內の掃蕩を行ひ南門に達し南門から城壁の上を更に東南突角に進擊こゝで部隊を集結し東に向ひ感激の捧げ銃をなし陛下に保定陷落を奉告するとゝもに一同次の戰ひの誓ひをたてた

三勇士が語る
激戰の状況

【保定廿七日發國通】記者は保定北門一番乘りの榮譽の石田、後藤、芦刈の三勇士を訪ねた、石田軍曹は激勢の後の輕い風邪氣味で暗い一室で支那薄團にくるまつてゐたのが特に起きてくれたが、みるからに朴訥な青年で後藤秋義上等兵とゝもに言葉少なに左の如く語つた（芦刈一等兵は勤務で、殘念ながら不在であつた）

□…城壁　元まで來て北門の西方を選んで綱梯子をかけ石田軍曹が先頭で登つた、直ぐ上の方に城壁から斜に小さな木が見えてゐた恰好な手掛りだが屆かないので十字鍬で城壁に穴を二つあけて漸く手が屆いたので機械體操の尻上りでこの木にとりつき石田軍曹は左の手で木の根元をまきつけながら右手で下から後藤上等兵のよこす第二の梯子を受けとりこれを木の根元にくゝりつけて兩手でしつかり押さへ後藤上等兵に「行け!」と命じた、傾斜が急なので油斷すると梯子ごと眞ッ逆樣だ、後藤上等兵は石田軍曹を乘り越えて石田軍曹に尻を押しあげられつゝ登りつめたが、城壁に手が屆かないので、そこに丁度小さい木がはえてゐたので梯子の尖端をこれに結びつけフトみると天祐か、城壁の瓦が一枚グラグラしてゐる引張るととれたこれを足場にやつとの思ひで城壁の銃眼のところに手が屆き、最後の努力でウンとふんばり城壁上におどり上つた、後藤上等兵の先づ眼についたのは此所彼所に轉がつてゐる敵の死體だつた、敵はすでに逃げて影も形もない、足元にも死體が數個と負傷兵がノビてゐる

□…フト　みるとその中に一人が銃を後藤上等兵に向けて正に發砲せんとしてゐる、身に寸鐵も帶びぬ後藤上等兵は突嗟にかぶつてゐる鐵兜をもつが早いか投げつけた、幸ひ城壁を登る時紐はとけてゐたので直ぐとれて危く助つた鐵兜は狙ひ違はず敵の右肩を強か打つた、ひるむところを飛びついて捻ぢ上げ鐵砲を奪つて逆に一發、尚も武者振りつくのを銃の臺尻で頭に一擊加へたので流石の敵もそこに倒れて了つた、石田軍曹は下から攀ると突如銃聲を聞いたので「後藤、後藤」と呼ぶが返事がない、三人とも死を覺悟して來たが既に後藤上等兵が先に死んだかと思つた

□…瞬間　萬歳が上から聞えて來た、見上げると後藤上等兵が口に喚へて上つた日の丸を振つてゐる、續いて石田軍曹、芦刈一等兵とも城壁上に攀り萬歳、萬歳を叫んだ、その時城內から多數の住民や巡警が手に手に紅卍旗や白旗をもつて城壁上に登つて來たが手を振るのに全く抵抗の模樣がないので手眞似で城門を明けろと命じ一緒に北門に走つた、內門は簡單に開いたが外門は內部に一杯土嚢が積みあげられ容易に開かない、土民を總動員して漸く身體が入るやうになつたら待ち兼ねた本隊が秋山准尉を先頭にドッと雪崩込んで遂に保定の北門外の城壁上で萬歳を叫んだ時の感激は一生忘れることが出來ない

咆吼する江南戰線

敢然、敵前に着水し 不時着機を救助

【上海廿八日發國通】廿五日南京空爆の歸途江陰上流に不時着した大木一等航空兵を敵前で救助した殊勳の軍艦○○水上偵察機の横山兵曹長濱野二等航空兵曹は廿八日軍艦○○で交々語る

▽……不時着　機があるとの報を聞き廿五日午後一時五十分頃現場につき捜査の結果河岸から約二十米のところに顚覆してゐる不時着機を發見、約三十分低空で搭乘者の有無を調べたがどうも分らず若しやと思つて着水機體の中を點檢したが搭乘者が居ないことが判明したので敵に飛行機を渡すまいと機銃でうつて燒却した、それから搭乘者をさがしたが見付からず、三時十分頃歸途につかんとし不時着地點から約二哩の下流を飛行中、芦原の中から何か信號する者があつた、支那人子供のいたづらかと思つたが、更に二、三回たしかめてみてもよく分らず、それで附近に着水するとまがふかたなき日本の信號だつた

直ちに救助せんと近付くと突然河岸から約一ケ小隊の敵が猛射して來た、二人の搭乘者は「危險なり」、「さきに退け」の信號をしてゐる、その時は三十米位に近寄つたが、それで百五十米位まで退き、「泳いでこい」と機上から信號すると、二人は五十米位まで泳いで來たとき急に敵が射擊し、二人の周圍には水煙があがつてゐる、自分等は絶えず旋回銃により

▽……對岸を　掃射しつゞけてゐたが、泳いでゐる二人の中一名は彈雨の中で急に見えなくなつた、これは危機だ、と飛行機を近づけ岸から七十米まで接近生殘りの一名をやうやく救助した、其後附近を探したが沈んだ一人は遂にみつからず、その中上流と下流から敵砲艦三隻が自分等に向つて約卅米から射擊し始めたので此上捜査も危險と三時半頃離水、遂に最後まで救はうと思つたのも果さず殘念ながら一人を殘して歸還した

江崎伍長の手記
炸裂する手榴彈の中 決死隊は進む
″今こそ死ね″と隊長の命令

【上海○○前線にて廿七日發國通】廿五日午後二時決行された林家宅攻略戰は八月廿三日の敵前上陸にも比すべき壯烈極まる白兵戰であつた、鷹森部隊、中島、金田兩部隊は戰車隊、工兵隊と協力して攻擊開始、中島部隊からは篠田少尉以下四十七名、金田部隊からは長縄少尉以下三十六名の決死隊がそれぞれ組織され三百米に及ぶ地下道をくゞりクリークを渡つて敵陣に突入言葉に絶する壯烈極まる白兵戰を演じて遂にこれを占據したが、この決死隊に○班長として參加して不幸敵彈に傷ついた長縄部隊江崎宮夫伍長は左の如き手記を認めたが壯烈無比な決死隊員の奮戰振が描き出されてゐる

午前一時半金田部隊長から部下三十六名をむざむざ死地にやるのは自分として誠に辛いが皇國のため皆死んでくれと靈涙ともにくだる訓示があつた、一同肅然たるなかに異口同音に「ハイ」と元氣に滿ちた聲で答へた鷹森部隊長から特にわれ等のためにくださつたウイスキーを水筒の蓋にもり、ドロップスを肴にして別れの盃をくみ長縄少尉指揮のもとにいよいよ行動に移つたこれが最後かと思ふと戰友の顏の一つ一つが今更のやうに懷しく、兄弟の俤が流石に眼に映つてくる

午後二時十分自分達が工兵と協力して開鑿した薄暗いトンネル路を一人一人肅々と進む、やがて前方のクリークの濁水が見える、あのクリークの向ふに殘虐なる敵がゐるかと思ふと更に勇氣が五體に滿ちて來た

トンネル道の出口に來た、幅四メートル餘のクリークには連日の豪雨の濁水が渦を卷いてゐる、先頭の一人がドブンと身を躍らせた、次から次へと續いてゆくと俄かにクリークの西岸に一敵兵の影が現はれ始めた、見ると手に手榴彈を振り廻してゐる、瞬間バーンバーンと炸裂する水煙があがる併し天祐にも誰も傷つかぬやうだ、しばらくして向岸についたとき待ち構へた敵は手榴彈を雨のやうに降らせて來る、あちこちで炸裂する音が雷鳴のやうに響く、そばにゐた水井正藏上等兵がアッと倒れ櫻田一郎上等兵が傷ついた、「突擊」長縄少尉の命令が轟く、敵兵は小癪にも銃拳銃を亂射して向つて來た「この野郎」とそれをブッタ斬つた瞬間物凄い炸裂が足元で起つた「しまつた!」と思つた時は氣力がだんだん薄れてゆく、遠くで友軍の喊聲が聞える、萬歳々々と叫ぶ聲を夢のやうに聞いた「日章旗が揚つたぞ」自分の傍で倒れてゐた勝又上等兵が匍ひ寄つて自分の耳に口をあてゝ叫んでゐる占領したのだ、嬉しさが一度にこみあげ涙が溢れて來た

なほ江崎上等兵は岐阜縣出身である

弘報協會懸賞當選二等次席

中國民衆に告ぐ（二）

新京にて　權寧九

諸君!南京政府の非道暴虐は日清戰爭後、北清事變、濟南事變、上海事變、滿洲事變等日支兩國の全面的又は局部的數多の軋轢、抗爭の原因結果を正しき歷史に基き冷靜に批判檢討するならば容易に觀知し得るであらう

今回の支那事變はどうであつたか?從來日本は北支の明朗化を以つて中國延いては東亞安定の基礎となし塘沽停戰協定、梅津、何應欽協定、土肥原秦德純協定等により正當に軍隊を駐屯せしめ、赤露の南下策を阻止し動もすれば正義人道をも忘れて純朴なる住民を壓迫し不法に私利を貪らんとする諸勢力を牽制して漸く北支一億同胞の安居樂業が實現されつゝあるところ、圖らずも彼の暴戾なる第廿九軍はこの停戰地域を侵し日本軍に砲擊を加へたのである、日本軍はこれに對しても極めて冷靜なる態度を取り再三反省を求め局地解決を主張したるに拘らず南京政府は對日一戰已むなしと妄斷し各機關を結束して空、陸軍を北支に集中せしめ、遂に長江一帶および同以北の軍隊をも總動員して徐州、洛陽その他を堅め、明朗北支をして直ちに修羅場化し一抹の殺氣をもつて塗りつぶさんとしたではないか

然れども日本および日本軍は飽くまでも南京政府の反省を促がし現地解決を唱へて同族相食むの慘を避けたのであるその證據にはわが軍の壯烈な應戰に堪へかねて宋哲元がわが香月司令官に對し事變の責任を率直に謝罪したる時日本側においては直ちに諒として平和的に解決せんとしたるを見るも明かである、若し日本が南京政府ならびに共產黨の逆宣傳の如く領土的野心があるとするならば何故にこの場合徹底的に軍事行動に出でなかつたであらうか

窮鼠宋哲元の哀願を諾々として聞きいれたのではないか?しかるに一方哀願しながら裡に廻つて南京政府は如何に卑怯悪辣を盡したるかを見よ!郎坊、廣安門附近において專ら居留民保護に當れるわが軍に不意の攻擊を加へ南京政府は現地協定を極力否認し挑戰ますます高まり、居留民の不法抑留、家宅侵入、掠奪など暴狀筆らざるなき壓迫を被り一般人心は戰々兢々たる有樣であつた、しかも日本は克く隱忍自重、事件不擴大平和解決原則に基き多くの人命と莫大なる國帑を犧牲にし凡ゆる侮辱を受けながらもなほ平和解決に努力したのである

しかるにこの日本及び日本軍の誠意は遂に水泡に歸し反つて上海におけるわが大山大尉の慘殺、共同租界不法侵入、南京を始め各地における中央軍の示威、暴行等は遂に日支全面的衝突を不可避ならしめたのである

わが軍が度々の約諾食言を敢へて!頑として反省するところなきこの南京政府を徹底的に膺懲すべく奮然として蹶起したるは東洋人の名譽であり、吾人が絕對的に支援する任務を痛感する所以のものである

諸君!日本は今次の事變において最後まで正義人道に立脚し、八紘一宇の國是を嚴守した南京政府軍の暴戾なきところに日本の砲彈は飛ばなかつた筈であり、非戰鬪員を殺傷することはなかつた筈である若しあつたとするならばそれは抗日軍隊の背後に隱れこれ等軍隊を膺懲するため已むなく淚ながらも擊たねばならぬ場合に限られたのであらう、さりながらも非戰鬪員、無辜なる諸君の多く居住するところは力の及ぶ限り爆彈を差控へるのである、諸君の生命、財產を惜むことなくば日本軍の壯烈無比なる武力は南京政府ならびに共產黨を一朝にして悉く潰滅するであらう、憎むべき抗日の軍隊でさへ負傷者、疾病者には投藥治療を怠らなかつた、日本在住の中國同胞の生命財產は完全に保護された、彼等が本國に引揚げるとき日本を去ることを惜しみ却つて本國を怖れる程ではなかつたかこれによつてもわが日本の敵は民衆諸君に非ずして南京政府及び共產黨であることを知るであらう、又日本及び日本軍は彼等の抗日侮日を膺懲せんとするほか、現に共產黨や南京政府が新聞ラヂオその他凡有る手段をもつて排日熱を煽つてゐる如く領土的野心或は經濟的搾取を企てる等は毛頭ない、却つて中國四億同胞が一部不良の政治家、軍閥のために內亂の危險と貧窮とに泣きつゝあるのを氣の毒に思ひ東洋平和のため又中國民衆の幸福のために盡さんと熱望努力してゐるのみである、弱きを助け強きを挫くは日本民族性であり、武士道の精華でもある、暴戾極まる支那軍を膺懲し國民政府の堅持してゐる抗日政策の非を充分に反省するにおいては何時たりとも日本軍は速かに撤兵する筈である、此の誠が容れられず不幸にして兩國正式開戰にならうとも日本軍は諸君を同情し、十分に庇護するに相違ない、諸君は日本軍を絕對に信頼せよ、諸君は多年の國民政府および共產黨の欺瞞政策、搾取から完全に解放されねばならぬ、日、滿、支のアジア民族は利益社會を超克して協同一致共存共榮の理想的、道義社會を創造せねばならない時機に到達した、今次事變の因つて來るところ遠く且つ深刻なるものがある以上日本は斷乎として其の建國の大精神に基き所信に向つて邁進する外一途もない、これ以上南京政府の欺瞞的二重舌に弄される必要は斷じてないのである

同胞諸君!諸君は現在の南京政府の不信不法實に一國の爲政者として將又人間として恥ぢるべきか卑怯なる態度に對して何時までも從順に傍觀する事か、その甘言佞說に足る所を知らざる慘酷な搾取に永遠に屈服せんとするか、余は徒らに諸君を煽動せんとする者ではない、たゞ諸君の正しき識認を促し禍中に安眠を貪らんとする諸君の覺醒を勸告せんとするものである

海の猛鷲 間瀨兵曹長

【上海廿七日發國通】○○基地に連日奮闘する空の勇士達の中に、岡本少佐指揮下の間瀨平一郎兵曹長（愛知縣出身）は、飛行五千五百回のレコードを有し、空中で發動機が停止したこと卅二回もあるが、何れも無事に歸つて來たといふ老練家である

間瀨兵曹長は廿六日我海軍の誇る快速機に搭乘、敵飛行場偵察の命をうけたが、當日は三百メートルの上空すでに雲といふ惡コンデイションを冒して決死の冒險飛行を行つた暗雲を衝いてまづ長興飛行場に向ひ敵高射砲の頭上十メートルの低空飛行を敢行、敵の砲手をあつけにとらせ、さらに廣德飛行場では百メートルの低空に降下し、悠々場內にあるノースロップ機一機を爆破し、續いて折柄の雨中を杭州　波飛行場等を荒し廻つて歸還した

間瀨兵曹長は語る

長興では高射砲をかすめて飛んだら砲兵六名が狼狽して却つて一發も射たなかつた廣德では爆擊の風壓で機體がグッとあふれた、敵が射つて來た機關銃彈はアイスケーキのやうに細長く見えた

負傷に屈せぬ 豪勇森原中尉

【上海廿七日發國通】廿六日夜王宅附近の激戰にて敵塹壕內に突入して奮戰を續けてゐる石井部隊の森原一百中尉は右腕に敵彈をうけ名譽の負傷をしたが、聊かも屈せず、自分の越中褌で傷口に手當を加へ、今なほ第一線に立つて奮戰を續けてゐる、同中尉は上海軍工路の激戰に江南の華と消えた飯田七郎少佐の股肱でその後よくその部隊を率ひ上海市政府を占據するなど幾多の殊勳を樹て、江南の敵をして心膽を寒からしめた勇士である

″ハンカチ″梅林″の遺書
見よ、烈々たる大和魂

【德島廿八日發國通】敵陣に落ち行く愛機の中から悠々ハンカチを打振りつゝ南京空爆の華と散つた故梅林孝次大尉が南京空爆直前の八月七日夜兩親の德島市梅林行運氏および夫人さき子さんに宛て綴つた絕筆の遺言狀が廿七日所屬部隊から梅林家に送り屆けられた遺書には烈々たる大和魂のほとばしり、崇高なる武士道の精華がしのばれ故人の面目躍如たるものがある、全文左の如し

遺言

天皇陛下の御爲に戰死す、武人の面目にして男子の本懷なり、非常時局に海軍に入り永年先輩の御指導および級友の友情により今日の榮を得たり、北支事變起るに際しこの配置にあり國防の第一線に立ちて職責の重且つ大なるを思ふ、たゞ感激と感謝のみ、父母樣に先立つも君に忠なり又親に孝なり、私の戰死を喜ばれたく御上よりの御恩典は專ら教育のことに使はれたく、わが家の生活の費とせざること、老ひたる兩親を殘すは忍びざるも仕方なし、弟妹相扶けてなき兄の分まで孝養を盡されたく、私の墓は不用、ぜひ建てるならば極小さきもので可なり、今ほなき戰友の遺族を時々訪れ慰められたく、終りに臨み父樣、母樣の御健康を切に祈ります

八月七日夜○○航空隊において出動の前夜　梅林孝次

御兩親樣

尋ね求める弟は 白骨となつて戰場に
從軍僧味岡兄弟の奇しき邂逅

【北平廿七日發國通】わが將兵とゝもに墨染の法衣に雄々しく戰場を馳驅して戰死者の冥福を祈り或は傷いた將兵を慰める多くの從軍僧の活動振りも今次の戰線を飾る異彩であるが、出征した義弟の後を追つて北支に從軍した僧侶が佛緣と云はうか、奇しくも戰場で始めてめぐり合つた弟が、その時はすでに一片の骨となつてゐたといふ聞くも痛ましい物語りがある

高野山從軍布教師として九月十二日以來○○隊に從軍の熊本縣人吉町高野山主味岡良勸師こそこの淚の主人公だ

去る十九日護衛兵五名とゝもに固安を出發して戰ひの後を弔ひながら戰線に向つた味岡師等は、牛　鎭まで差しかゝつたところ、この邊一帶は敗殘兵が頻りに出沒するのと加ふるに道路が全く破壞してゐたゝめ已むなく固安に引返すことゝしそのまゝ歸途についたが、夕刻固安の少し手前に差しかゝつた時數名の戰友に護られ同じく固安に向ふ遺骨一體に出合つた、味岡師は直ちにその冥福を祈るため傍らに近づいてみるとこれこそ味岡師が戰場で探し求めてゐた義弟の谷本良巳歩兵上等兵（二〇）の變り果てた骸であつた、夢想だにしなかつた義弟の戰死、何といふ奇しき緣だ、味岡師の眼には熱い淚が湧き、暫し言葉もなく廻りの兵士達も心を打たれて味岡師を慰める言葉を知らなかつたその夜固安の假營の宿で燈明もつけず谷本上等兵の遺骨の傍に夜明けまで端坐して讀經した味岡師は翌二十日遺骨を抱いて足取りも重く椽垈鎭の野戰病院に行つて傷病兵を慰問したが、そこで谷本上等兵の上官酒井部隊長に面會して許莊子における谷本上等兵の勇壯なる戰死の有樣を詳しく聞き北平の觀音寺に遺骨を安置した師は淚をのんで再び雄々しく戰線に赴いた

寺內司令官 軍用郵便所 傭員に感謝狀

【天津廿七日發國通】寺內軍司令官は事變以來二ヶ月有餘支那駐屯軍々用郵便所傭員として連日寢食を忘れ、劇務に從事した關東遞信局員の勞を多とし、廿七日寺內大將の名をもつて感謝狀を發した

萬國道德會 錦州省大會 皇軍に感謝決議

萬國道德會錦州省總分會では廿七日同分會において大會を開催北中支に活躍する皇軍に對する感謝決議を行ひ、これを各關係當局に發送するとゝもに支那民衆に對し皇軍の正しき行動と支那軍閥の惡政を破棄し反省を促がした宣言文を發表した

暴支膺懲 學生大會 卅日軍人會館で

【東京國通】全國百萬の學生より成る愛國學生聯盟では卅日夜九段軍人會館に暴支膺懲學生大會を開催し、青年學徒として愛國の雄叫びを擧げ、事變に關する固き決意を表明することゝなつた

當日參加する學校は期日の關係より東京だけで東大をはじめ官公立大學三十餘校が代表として出席、宣言決議を決定し、これを當局に傳達するほか駐日各國大公使に聲明書傳達、ヒトラー總統、ムッソリーニ首相に打電するほか出征皇軍將兵に對しても慰問打電し、各校代表が熱辯を振ふ筈で、當日は貴族院議員井田磐楠男元駐獨大使本多熊太郎氏などの特別講演がある

北支戰勝祝賀大會
あす大同公園で擧行
皇軍への感謝と歡喜の旗行列に
全市に波打つ慶祝の華

新京に於ける北支戰勝祝賀大會は協和會首都本部の主催により愈よあす三十日午後三時から大同公園に於いて擧行されることとなつた、この日在新京の全協和會分會員は公園內所定位置に二時五十分迄に集合、左の次第により盟邦日本の赫々なる戰勝を慶祝する

一、開會の辭
二、國旗揭揚國歌齊唱(日滿)軍樂隊吹奏
三、致詞　田邊首都本部長　徐特別市長
四、對英靈默禱
五、感謝文決議
六、萬歲三唱　大日本帝國、滿洲帝國　大日本帝國陸海軍、滿洲帝國國軍
七、閉會の辭

大會終了後全員を三部隊に編成しそれ〴〵旗行列を行つて關東軍司令部、駐滿海軍部司令部及び治安部を訪問し代表より感謝決議文を捧呈することとなつてゐる、なほ若し當日雨天の際は十月四日に擧行する筈である、大會開催に關し協和會首都本部では次の檄を發して盛大を期してゐる

午後三時!期し　全市民參加せよ(協和會檄文)

九月二十四日!!敵北支本陣の城頭高く日章旗翻る!一度正義日本軍蹶起するや華北の山河は疾風に靡びくが如く、軍閥必死の防禦陣は次々に瓦壞、彼等が最後の賴みとし、全力を集中した保定滄州も一擊の下に陷落した

城頭高く翻る大日章旗!!日章旗の波を湛え、呼應歡呼して迎へる中國民衆!玆に東亞の天地は明朗の明日を確實に約束されたのだ!

我等滿洲國三千萬國民は、驚嘆すべき大日本軍の日に夜を次ぐ勇武神速に、畏敬と感激禁じ得ず、盟邦日本軍作戰の歷史的大成功と北支民衆の爲に萬歲を絕叫する!!盟邦大日本帝國萬歲!!

日滿支提携實現萬歲!!我等、三千萬國民、擧つてこの歡喜、この感激を以て、この大事を慶祝し記念せんとす!!

九月三十日午後三時!我等國民一人殘らず、日滿國旗の波を打たせて大同公園に殺到しよう!

滿洲帝國協和會首都本部

田中居留民會長等　大使館訪問

既報の如く新京居留民會は治外法權全面的撤廢に先立ち九月三十日を以て實質的解消の爲、去る二十五日關係各方面多數參集の上盛大なる解散式を擧行し、三十年餘の久しき歷史の幕を閉ぢたが、田中民會長は二十七日午後一時より松田副會長、江口理事帶同の上解散式當日大使より與へられた感謝詞に對する挨拶の爲大使館を訪れた、其の際植田全權大使より懇篤なる犒ひの辭を受けると共に今後一層日滿兩國發展の爲益々精勵されたいとの詞を與へられ一同大いに感激して退出した

永豊里ペストに　四平街驛で　乘客檢疫

既報、雙山縣永豊里に發生したペスト防疫に對しては當局必死の活躍に極力漫延を防止しつゝあるが、さらにこれが防疫の完璧を期するため四平街驛に於て列車の乘客、乘務員の檢疫を實施すると共に平齊線の貨物列車に對して鼠族の驅除を行ふの嚴重なる防疫陣を布くことに決定した、倘これに關する一切の施設は滿鐵に於てなすこととなつた

女五名釋放　內鮮人の不正業者取調べ

曩に新京署に檢擧された阿片麻藥密賣の不正業者日、鮮人の取調べは同署司法係に於て引續き嚴重行はれつゝあるが右のうち內地人女子五名に對しては家庭の事情も考慮して一應釋放することゝなり二十八日それ〴〵將來を嚴重訓戒轉業を誓約せしめて釋放した

蒙古の王様からも　五百圓の獻金　關東軍へ高鳴る協和獻金譜

華北大戰捷の燦たる戰果を收めて無敵皇軍は躍進また躍進追擊戰を續けつゝあるが、皇軍に對する滿洲國民の感謝と畏敬の念もいよいよたかまり五族協和の獻金譜を高らかに奏でゝゐる、廿八日は珍しくも蒙古の王樣が關東軍司令部を訪ねて感謝の言葉を述べるとゝもに關東軍に五百圓を獻金し、蒙古の軍資金として德王に傳達して下さいとさらに五百圓を提出した、此王樣は達爾罕親王那木濟勒楞といふ難しい名前の老人、滿洲事變前までは興安南省興安中旗の旗長として蒙古王族の首位にあつた人だ、事變後は健康が勝れなかつたゝめ職を辭し奉天市淀町四の寓居に悠々自適の生活を送つてゐる

奇篤な夫婦獻金　慰問袋と共に本社寄託

廿八日本社を訪れた一婦人は抱へて來た慰問袋二個と金一封を提出、お手數ですがよろしくお願ひしますと立去るので住所氏名を尋ねると、ほんの些少ですが私共の志だけを皇軍慰問にお加へ下されば結構です名前などはと辭退されたが本社では獻納金品の代納を取扱ふだけで受領證が來ても屆け先に困るからと事情を話したところ、新京特別市西七馬路アパート十四號橫川淸之進氏夫妻の寄附と判り尙金一封は二十圓在中、本社では直ちに關東軍司令部に納入の手續きを終つた

大正寺參禪會

達磨忌を迎へ曙町大正寺では十月一日から五日まで每朝(六時―七時)參禪會を開催する現下の非常時局に際し自已探求に老若男女を問はず奮つて參會されん事を希望してゐる

人生は五十二から　富永、結婚觀を語る

根據地靑島引上げを契機に新生活建設のためこゝに超心臟の求婚廣告となり當局に疑惑視されて檢束取調べの結果犯罪に關係なく釋放となつたものであるが變り者富永氏は今後如何なる道を步んとするものであるか九日間の留置場生活を終へ釋放された富永茂一氏の宿舍東二條通り大和新館卅五番室を訪へば、留置場生活に幾分面やつれして延びたあご鬚に手入れを加へんとするところであつたが、剃刀取る手をやめて心よく迎へ左の如く現在の心境を語つた

今度はとんでもない災難に遭ひました、何分旅空で身元照會等の往復に時日を費やしたものですから遂ひこんなに長くなつたのでした警察に於ても僕の職業に疑惑があつたやうでしたが、自分の職業に就いては誰にもはつきり言ふことが出來ない事情があるので警察でも川越大使に照會して戴けば判明するだらうと言つたやうな次第でした

今度の求婚廣告が突飛であるとして當局に疑惑視された第一條件となつたが決して突飛なことでもなく內地の都會には例のあることだ

これを突飛であるとすることは現代の結婚觀に對する認識の缺除からである、僕の體驗からしても女性廿三歲を過ぎれば性の惱み或は世間態等に氣がひねくれて非常に偏狹となり我が强く個性は複雜となつて家庭の女となり所謂「嫁して夫に從へ」の從順な妻として望むことは出來ない、其上男性の通念として二十三歲以上の女は多く處女性を失つてゐるものである、かゝる缺陷を自分の過去の惠まれぬ家庭生活から新生活建設のため純眞な女との結婚を求めた譯である

かく求婚の心境を語り更に不老長壽の祕法を論じて所謂四十、五十の時代は鼻垂れ小僧八十、九十が働き盛りで自分は五十二歲の今、第二段の活躍時代に入つたところである氣分も健康も二十歲代の若者を凌ぐものであると健康を誇り、過去の女とも無關係で求婚の不當でないことを盛んに力說した、最後に今後の步みに對し

新京で味噌をつけたが、よく理解して求婚者があれば喜んで結婚するつもりだ、然し僕の財產を目あてにする不純な打算的の考へのものには御免を蒙る、勿論貧困者であれば家族の人々も積極的に援助するつもりである、適當の人がありましたらよろしくお願ひします

長與善郎氏來京　少年滿洲讀本に就いて語る

滿鐵に招聘せられて少年滿洲讀本編纂の材料蒐集のため渡滿した日本文壇の雄長與善郎氏は二十八日午後四時三十分列車で着京ヤマトホテルに投宿したがサロンにくつろいだ氏はボツリ〳〵と語る

滿洲はこれで三度目です、本の名は未だ決定してゐませんが多分少年滿洲讀本といつたものになるでせう、ありのまゝの姿を描いて印象的に滿洲を知らせたい希望をもつてゐます、昨年も滿洲にやつて來まして主として國境方面をみましたが今度は滿洲の秋を知り度いと思ひましてやつて來たわけです、移民村、自警村を詳さにみたいと思ひ旅行のスケジュールも一ケ月程の豫定で東滿地方を中心にとつて來ました、新京から眞直ぐに飛行機で牡丹江に飛び一面坡、佳木斯を見哈爾濱に出て山海關から天津にも行つてみる計畫です、出來得れば北京にも行つてみたいと思つてゐます、どうですかあなた方も最近は支那事變でお忙しいでせう、滿洲にはいろ〳〵とみたいものは澤山ありますがから歲をとると旅行も樂でありませんわい(寫眞は語る長與善郎氏)

松岡總裁來京

重要問題を提げて中央機關と交涉のため上京中であつた滿鐵總裁松岡洋右氏は二十八日飛行機で着奉、二十九日午前八時着列車で來京關東軍首腦部と會談のうへ三十日飛行機にて離京の豫定

永田主任歸京

奉天出張中の新京署永田保安主任以下署員〇〇名は二十八日午後四時三十分着列車で歸京した

馬糞驅除器取付け
優秀案を折衷して實地試驗
不備あれば知らせよ

保健衞生上また都市美の上から見ても百害あつて一利ない街路の汚物馬糞の驅除は多年市民の惱みの種であつたが今春以來本社主催滿鐵新京支社新京特別市公署、新京警察署首都警察廳、首都乘用馬車人力車組合後援のもとに驅除案の懸賞募集を行ひ廣く全滿のみならず內地から百數十件の應募を得て審査會を開き研究したが適切なものもなく優秀なもの十三案を選び爾來馬車組合に於て約二ヶ月に亘りそれ等優秀案の長點を折衷して十數種を造り考究を重ねた結果現在のものを作製しいよ〳〵市內の馬車に取り付け實地に試驗する運びとなり二十八日百余台に取り付けた、二週間位實驗の結果不備の聲があれば更に改良して一齊に全馬車にとり付ける豫定でこれが完成の曉は市街から完全に馬糞が驅除されることゝなり、多大の期待をもつて待たれて居るが、なほ現品の實驗を見て一般市民の改良案の投稿を歡迎して居る

鄕軍第四分會　未教育補充兵教育

新京鄕軍第四分會の第二回未教育補充兵教育は二十八日午後四時半から新京商業學校々庭で開始された、定刻一同集合吉村第四分會長、山口滿鐵新京支社長それ〴〵一場の訓示を述べ終つて小野寺教官の指揮にて直ちに教練開始、緊張裡に終始して六時半頃第一日の日程を終つた、第二日は廿九日午後四時半から開始される【寫眞は訓示を聞く未教育補充兵】

犯罪に關係なし　求婚男釋放さる
新事實　結婚は六回した

既報、超心臟男、謎の求婚男として國都にセンセイションを捲起した話題の主富永茂一氏は以來新京署に於て取調べ中であつたが廿八日同署では取調べも一段落したので午後五時釋放した、富永とは如何なる人物であつたか、果して彼は色魔であつたらうか、所謂謎として秘められたその全貌を繙いて見るとこうだ

富永氏の五十二歲に至る今日迄の生涯は苦鬪の生活であつた、靑島に於ける生活約廿年間に築き上げた資產十萬圓と言ふも滿更らの出鱈目でもなさそうであるが、當局の取調べによる推定では三、四萬圓と目されてゐる、何れにしても無一物にして海外に飛び出しこの資產を得たことは彼の苦鬪を物語るものであらう、然しかゝる資產を有し乍ら擧國一致の非常時に際し未だ一文の國防獻金も申出でたことなくその反面にカフエー等には常に出入して月四、五百圓を遊興に費消することをおしまぬもので世間からは變り者として批判を受けたものであつた

富永氏に對して最も注目されてゐる過去の女性との交涉に對しては昭和三年大連に於て彼より四歲年上の山野トミと結婚同棲三年にして離婚したのをトップに第二回靑島に於て大下イエと三年間、第三回に十六年下の女學校を卒へた山下エミ子と同棲五年、其間三人の子までなしたが二人は死亡殘る一人は啞で現在十六才にして大連盲啞學校に入學せしめてゐるものであるが彼女とも離婚、第四回二十四歲の女藤澤ミキと同棲六ケ月第六回目に前記大下イエの姪十九歲の季子と結婚同棲一年間にして現在に至つたがこれまた離婚

繰返す結婚はすべて失敗に歸し家庭的には至極不幸な男でもあつた、今次の日支事變に際會して彼の生活の

保稅、實業勝つ
準硬式野球第十日目

本社主催運動具店三協後援の準硬野球大會第十日司法部對保稅俱樂部戰は二十八日午後一時より西公園球場に於て森川(球)津田、橫內、藤田(壘)四氏審判のもとに保稅の先攻で開始された

一回保稅の攻擊で羽場、杉田續いて四球に出で古賀の二壘打、熊谷の安打等で三點を先取すればその裏司法部一點を取り返へし以下追ひつ拔きつ接戰を演じ結局十一對九で保稅が勝つた

引續いて四時より一組の準優勝戰實業A對金融合作社戰が森川(球)津田、橫內、藤田(壘)四氏の審判で開始され先攻實業A劈頭に一點を入れたが金融としても附け難い一戰、よく挽回につとめた、後半七、九回に實業Aチャンスを摑み二點、三點と加へ七對一で大勝した

△司法部對保稅俱樂部スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
保稅	3	1	0	0	1	0	2	0	4	11
司法	1	0	3	0	1	0	4	0	0	9

司法　今藤濱鈴長森森長鎌
保稅　里本　木川本本倉形　谷

11―9

△實業A對金融合作社スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
實A	1	0	0	0	1	0	2	0	3	7
金融	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

保稅　遊二中三投一捕右左　中場田賀　谷見橋年　田羽杉古西熊淺高萬　左中右一　中一
實A　遊二三投捕右左一中
金融　村瀨邊森田井藤　大岩梶科竹森村加木　合田野鎖藤埜川松　河日伊佐弘平重

1―7

けふの天氣

けふの天氣　南の風晴後曇
日の出　前六時三三分
日の入　後六時二五分
月の出　前〇時三九分
月の入　後三時二一分
きのふの氣溫　最高二〇度二　最低三度六

フレンソーダ

大きい人には大きいなりに小さい人には小さいなりにそれ〴〵惱みの種があるさうな▼新京署の平岡警部補新京中を探したが丁度合ふカラがないと惱んで居る、これを聞いた交通會社の仙波氏▼私しも御同樣で困つて居ます、しかたないので特別に造つて貰つてゐるんですが不便ですねと同病(?)相憐れんで居る▼これぢや體位の向上も何もあつたものでない、優秀偉大な體格なるが故に着るもの被るものを求める度にきまりの惡い思ひをするとは變なものですねーと平岡さんは首をかしげて考へてゐる、誰か十三文甲高の靴と十七半と云ふカラを用意して上げて下さい

義人長七郎（五十六）

（講上演映畫化）中川雨之助　竹枝一郎畫

彦左の活躍（三）

すると、彦左衛門。

「手前は只今頂戴して居ります三千石で結構でございます。三萬石を頂戴する身分になつたからといつて、御殿一日に、三十ぺんも四十ぺんも、御飯を食べられや致しません」

「そんなことは當り前さ。そんなに食べたら命が無い……」

家康公も呆れてしまひました。

相手が家康だらうが誰だらうが、なか／＼遠慮するやうな彦左衛門ではありません。

「して見ると、たとへ三萬石を頂戴致しましても、人間一匹、食事は、やはり日に三度、夜は寝て、朝は起きます」

流暢になつて、分り切つたことを言つてゐるから、家康公も、ウンザリしてしまひました。

「食事が三度で、夜寝て、朝起る……あたりまへぢやないか。三萬石の加増、それほど厭なら、無理に遣らうとは言はぬよ」

「その代り我君、彦左衛門折入つて、お願ひがございます」

家康公、「ソリヤこそ、此爺、たゞで濟むはずはない」

と思召した。

「なんぢや、其方の願ひといふのは？」

「何卒手前に、我まゝ御免のお許しが、願はしう存じます」

と、頭を擦り込んで、たら／＼その時に我儘御免の許しを得てしまつたのです。

その我儘御免といふのは、

「我亡き後は、彦左衛門を予の名代とせよ。今後若し、將軍たりとも、過ちの有る場合は予に代つて意見すべし」

といふのだから實に大した物。三萬石以上の價値があります。サア家康公が、我儘の裏書をしたのですから、彦左衛門は大威張り、一つ間違へば、すぐに東照神君を、かつぎ出して、將軍だらうが、老中だらうが、遠慮なく頭を押へてしまふ。

そこで、何時となく「天下の御意見番」といふ肩書が付いてしまひました。

また「滑座席御免」といつて、どんな席へでも顔を出し、老中の上座だらうが何處だらうが、好きな處へ坐り放題の特權も與へられました。

しかし忠義一徹、曲つた事は大きらひ、無遠慮にビシ／＼やつけるといふのだから、誰だつて煙たがらぬ者は無い。まるで生木の燃えるやうな爺さんです。

その彦左衛門、けふもノコ／＼登城してこの、御前評定の席に顔を出してゐました。

しかし、先刻から、柱にもたれて、コクリ／＼と船を漕いでゐたので、評議が耳に這入つてゐないのかと皆が思つてゐると、だしぬけに笑ひ出したのです。そして何をいふかと思つたら。

「イヤハヤ、これは恐れ入つた。天下の智慧者と呼ばれる伊豆殿に似はしからぬ御意見だ。古い物の尊いのは、昔からの通り相場だが伊豆殿の智慧者も、やはり持ち古しになると、綻びが來るとみえますな」

と、例の憎まれ口です。

また初まつた…とは思つても、將軍の御前ではあるし、並居る一同の手前、伊豆守も、さすがに好い顔はしてゐられません

すると彦左衛門、一同を、凄い眼で、ヂロリと睨み廻し、

「獨り伊豆殿ばかりではござらぬ御大老を始め、よくも尻の穴の小さい連中ばかりがこんなに揃つたものだ。呆れて物が言へませぬわ。あツハツ／＼／＼」

だん／＼風向が荒くなつて來ました。